

【資料3】平成28年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業 具体的な取り組みの進捗状況

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H28年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価				
I 等しく認めあう													
1 固定的な意識の是正													
(1) 性別による役割分担意識・慣習の是正	① 固定的性別役割分担意識に基づく意識・慣習の是正		1. 男女平等に関する啓発活動の推進	男女共同参画課	実施した		<ul style="list-style-type: none"> ・広報やちよで特集を組み、市ホームページを随時更新して、男女共同参画社会づくりに関する情報を提供した。 ・男女共同参画だより「やちよべあ」とサンカク通信を発行し、男女共同参画社会づくりに関する情報提供と意識・慣習の是正をする啓発をした。 ・ポスターの掲示や寄贈パンフレットの市民配布により男女共同参画意識の向上を図った。 ・男女共同参画センター利用者研修会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・性別による役割分担意識や慣習の是正に向けて啓発できた。 ・来所者や主催講座参加者、支援団体等に地域及び県・他市等の情報を提供できた。 	積極的な推進が見られた				
			1. 男女平等に関する啓発活動の推進	男女共同参画センター									
			1-1. 男女平等に関する啓発活動の推進 (1) 視聴覚教材の貸し出し	生涯学習振興課						実施した	<ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚教材の貸し出しの中で、男女共同参画に関わる視聴覚教材の貸し出しも行ってはいたが、28年度の実績はなかった。 	周知について再検討したい。	現状維持
			1-2. 男女平等に関する啓発活動の推進 (2) 図書資料等の貸し出し	生涯学習振興課(図書館)						実施した	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画に関する資料を購入し、貸出を行うことにより、男女平等意識の向上を図った。 ・購入冊数:6冊 	利用促進のため、資料の展示等を行い利用者へのPRに努める。	現状維持
	(2) 一人ひとりの人権・人格の尊重意識の浸透	① 一人ひとりの人権・人格の尊重意識の浸透		2. 人権尊重に関する啓発活動の実施	生涯学習振興課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人権教育指導資料「輝きの明日」を公民館や図書館に配布し、各施設での配架により人権教育推進を図った。 ・「まちづくりふれあい講座」の中で男女共同参画の推進を図る「認め合い、支え合い、生き生きと暮らすために～男女共同参画ってなあに～」という講座を行っているが、28年度の申し込みはなかった。 	積極的に周知していきたい。	現状維持				
				2. 人権尊重に関する啓発活動の実施	男女共同参画センター	実施した	事業No.1と同じ	事業No.1と同じ	積極的な推進が見られた				
				2-1. 人権尊重に関する啓発活動の実施 (1) 人権啓発活動活性化事業	健康福祉課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> ・市内在住・在学の小学校5・6年生を対象に、千葉ロッテマリーンズアカデミーコーチの野球体験教室及び人権トークショーを開催した。 ・共催:船橋人権擁護委員協議会(船橋市・八千代市の人権擁護委員が所属)・千葉地方法務局船橋支局 ・開催日:平成28年12月18日(日) ・場所:市民体育館 ・参加人数:50人 	参加者には好評だったが、より身近なイジメなどのテーマを扱ってほしいという要望があり、今後の参考としたい。	積極的な推進が見られた				
				3-1. 相談の場の提供、相談の実施 (1) 人権相談	健康福祉課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> ・船橋人権擁護委員協議会の人権擁護委人権による相談を実施した。 ・日時:月1回、午後1時～4時 ・※6月のみ、午前10時～正午も実施 ・場所:八千代市役所旧館1階第3相談室 ・※6月と12月は福祉センター4階第3・4会議室 ・相談件数:7件 	定期的な開催により、個人の悩みを気軽に相談してもらえる場を設けることができた。	現状維持				
				3-2. 相談の場の提供、相談の実施 (2) 女性、こころの悩み電話相談	男女共同参画センター	実施した	<ul style="list-style-type: none"> ・悩みを抱える女性に対し、専門の相談員が精神的な支援を行った。相談内容によっては専門機関を紹介した。 ・毎週 火・木・金曜日 午前9時～午後4時 ・相談日数 146日 ・相談件数 706件 	この電話を心の支えにしている相談者も多く、昨年度より相談者が増加し、初めての相談者が104人だった。(前年度は95人)	積極的な推進が見られた				
				4. 男女共同参画に関する調査の実施。情報提供	男女共同参画課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画に関する職員意識調査を実施し、男女の役割・平等意識や仕事と生活の調和などについてどのように感じているか現状の把握を行った。 	調査を実施することで、男女共同参画の意識付けを行うことができた。	現状維持				
2 男女の人権擁護													
(1) ドメスティックバイオレンスの発生を防ぐ意識づくり	① 暴力を許さない意識づくりと相談体制の整備		5. 暴力行為を許さない意識づくり	男女共同参画課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月広報で周知している「女性、こころの悩み電話相談」に、DVに関するものがあつた場合、福祉総合相談室や県の女性サポートセンター等の専門機関を案内した。 ・DVに関する相談件数9件 ・県で作成しているDV相談カード・ちらしを市内公共施設に配布している。 	DVかどうかの判断が相談者の主観によるため、対応が難しい。	現状維持					
			6. 相談の実施	健康福祉課(福祉総合相談室)	実施した	<ul style="list-style-type: none"> ・DV被害者からの相談に応じ、必要に応じて、女性サポートセンター、健康福祉センター、警察などの関係機関と連携して対応した。 平成28年度 相談件数 21 件 	DV被害者に対し、必要に応じた様々な情報提供をすることができた。	現状維持					

【資料3】平成28年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業 具体的な取り組みの進捗状況

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H28年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価	
I 等しく認めあう										
2 男女の人権擁護										
	(2) セクシュアルハラスメント防止対策と体制整備	① セクシュアルハラスメント防止対策と体制整備	7. 市内事業所や市役所等の職場への意識啓発と相談体制の充実	商工課	実施した		国・県等からのチラシを窓口に掲示し、周知した。 【設置チラシ】 タイトル1「次のようなことについては、千葉労働局雇用均等室にお気軽にお問い合わせ、ご相談ください！！」 タイトル2「こんな問題で悩んでいませんか？」	必要な人に情報を届ける手段を検討。	現状維持	
			7. 市内事業所や市役所等の職場への意識啓発と相談体制の充実	男女共同参画課	実施した					現状維持
			7-1. 市内事業所や市役所等の職場への意識啓発と相談体制の充実 (1)市職員のハラスメントに関する相談	職員課	実施した		・管理監督者を対象にしたハラスメント予防研修の実施 ・平成28年10月「ハラスメントに関する職場実態調査」を実施。 臨時職員を含む1,814人が回答。 ・平成29年1月「職場におけるハラスメントの防止に関する手引き」の改定 ・平成29年3月「八千代市職員のハラスメント防止等に関する要領」の改定 ・相談件数：4件 ・連絡会議：1回開催	・要領や手引きの改定にあたり、新たに「妊娠・出産・育児休業・介護休業等に関するハラスメントの防止」についても盛り込み、ハラスメントの防止対策が推進できた。 ・管理監督者向けハラスメント予防に関する意識の向上を図る必要がある。 ・課題点としては、ハラスメントの相談体制の整備及び質の向上。	積極的な推進が見られた	
3 男女共同参画の視点に立った教育の推進										
	(1) 保育園・幼稚園・学校における意識づくりの推進	① 男女共同意識の啓発	8. 保育園、幼稚園、小中学校における男女平等の視点に立った保育、教育の推進	子育て支援課(保育園)	実施した		・男女の区別なく名前を呼んだり、並んだりしている。 ・男女とも同じ活動を経験していく。(リレー、ダンスなど) ・表現活動において男女の差別なく役を決めたり、男女で色分けしたりしないようにしている。	子どもたちに対し、男女平等の潜在的意識付けが行えた。	現状維持	
			8. 保育園、幼稚園、小中学校における男女平等の視点に立った保育、教育の推進	学務課	実施した		男女平等の視点に立った教育推進について、学校への訪問時や校長会議、教頭会議において指導・助言を行った。	子どもたちに対し、男女平等の意識付けが行えた。	積極的な推進が見られた	
			8. 保育園、幼稚園、小中学校における男女平等の視点に立った保育、教育の推進	指導課	実施した		校内の活動や職業体験授業を通して、性別に関わらず協力し行動する意義や大切さを学ばせている。	発達段階に応じ、幼・保・小・中学校の連携を図る必要がある。	現状維持	
			9. 人権講演、運動の支援	健康福祉課	実施した		・船橋人権擁護委員協議会の人権擁護委員が、市内小中学校の児童、生徒を対象に、人権をテーマとした講演会等を開催。 ・実施校：小学校22校、中学校2校、学童保育所5か所 ・「人権の花運動」としてチューリップの球根を配布・植え付けを行った。実施校：小学校4校	学校のほか、新たに学童保育所でも人権教室を行うことができ、児童・生徒が性別等に関わらず互いの人権を大切にすることを学べた。	積極的な推進が見られた	
			10-1. 男女平等の視点に立った保育、生徒指導のための研修の充実 (1)保育士研修会	子育て支援課(保育園)	実施した		保育士が男女平等の意識を持ち、子どもたち一人ひとりの個性を伸ばす保育を行えるよう、職員間の意識を共有するために、具体的に事例を出しながら会議を行っている。	意識の共有が進みつつあるが、全体に共有することがまだできていない部分もあるので、引き続き実施していく。	現状維持	
			10-2. 男女平等の視点に立った保育、生徒指導のための研修の充実 (2)生徒指導主任(主事)、長欠担当者研修会	指導課	実施した		・市内全小中学校の生徒指導担当者を対象とした研修会を実施。(1回) ・市内全小中学校の長欠担当者を対象とした研修会を実施。(3回)	各研修を通して、各学校担当者に対し男女の平等の視点に立った施策等の周知徹底を図れた。	現状維持	
			10-3. 男女平等の視点に立った保育、生徒指導のための研修の充実 (3)各種会議等における指導、助言、啓発	指導課	実施した		不登校児童生徒対策支援教室担当者会議での指導助言等。小中学生指導推進研究協議会、中高生徒指導推進研究協議会等で、男女平等の視点に立った指導助言を行った。	学校として一貫性のある男女平等の視点に立った指導に努め、組織的な対応ができる生徒指導の体制作りを強化したい。	現状維持	
11. 小中学校担当教員の学校人権教育研修会の実施	指導課	実施した		・学校人権教育研修会の実施(年2回) ・船橋人権擁護委員協議会主催事業の実施 1 人権作文・人権講演会 2 「人権の花」運動・人権教室 3 一日人権擁護委員 4 人権ポスターコンクール	・研修会を開催したことにより、各小中学校人権教育主任の人権に対する意識が高まった。 ・作文や人権教室等に積極的に取り組む学校が多く、児童生徒の意識向上がみられた。 ・学校でも、様々な教育活動を通して男女共同参画の推進を図っているが、個人により意識の差があるため、研修の場を増やしていく必要がある。	積極的な推進が見られた				

【資料3】平成28年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業 具体的な取り組みの進捗状況

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H28年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
I 等しく認めあう									
3 男女共同参画の視点に立った教育の推進									
(1) 保育園・幼稚園・学校における意識づくりの推進	② 男女ともに主体的な選択と能力・適性をいかすことのできる教育の推進		12. 教育内容に応じた混合名簿の活用		指導課	実施した	指導内容や必要性に応じて、卒業生台帳の公簿などは生年月日順とし、男女混合名簿を使っている。	今後も使っていく。	現状維持
			13. 学校における総合的な学習の時間、キャリア教育の充実		指導課	実施した	主体的な選択と、能力・適性を生かせるよう、小学校では職業調査学習、中学校では職場体験学習を行っている。	性別に関わらず自分の能力と適性を生かせることを学べた。	積極的な推進が見られた
			14. 進路指導担当教職員の研修の充実		指導課	実施した	性別に関わらず進路について子どもたちが考えられるよう、進路指導担当教職員を対象した研修を実施した。	性別に関わらず、個人の希望に沿った進路指導を実施している。	積極的な推進が見られた
			15. 中学校における技術家庭科授業の男女共修の充実		指導課	実施した	男女ともに技術分野及び家庭科分野を学んでいる。	技術分野も家庭科分野も、性別に関わらず自由に学び、能力を生かすことに繋がった。	積極的な推進が見られた
			16-1. 技術家庭科担当教員研修の充実 (1) 中学校技術家庭科実技研修会		指導課	実施した	三河礼法きもの学院の先生を講師に招き、浴衣の着付けを学んだ。	研修で学んだ浴衣の着付けを子どもたちに授業で教えることにより、「浴衣の着付けは女性」という固定観念を子どもたちが持たないように、男女共同参画の意識づくりが図られた。	積極的な推進が見られた
			16-2. 技術家庭科担当教員研修の充実 (2) 小学校家庭科実技研修会		指導課	実施した	小学校家庭科実技研修会を年2回実施した。より多くの男性教員の参加を増やすため、各学校に男性教員の参加を依頼した。 年々男性教員の研修への参加が増えている。また、家庭科主任も男性教員が行っている学校も増えてきている。 〈男性教員の研修への参加者数〉 H28:3人, H27:1人 〈男性教員の家庭科主任数〉 H28:3人, H27:1人	より多くの参加を目指して、今後も男性教員の参加を呼びかけていく。	積極的な推進が見られた
			17. 小中学校における性教育の推進		保健体育課	実施した	小学校6年生の体育で「病気の予防」、中学校3年生の保健体育で「感染症の予防」としてエイズを含めた性感染症について学習する。また、学級活動や学校行事等の特別活動の中で機会をとらえて性に関する指導を行っている。 啓発活動として思春期保健ネットワーク会議と連携して性に関するリーフレットの配布及び配布後のアンケート調査に協力した。	性に関する正しい知識の習得につながった。 また、アンケート調査により現状の把握ができた。	積極的な推進が見られた
			18. 家庭や地域に関する学習機会の充実		男女共同参画センター	実施した	講座の実施 ・男の雑学塾(全6回) 8月24日(水), 9月7日(水), 11日(日)雨天中止, 21日(水), 28日(水), 10月5日(水) 参加者/述べ61人 ・男の料理ビギナーズ編「買い物から後片付けまで」 11月5日(土), 19日(土) 参加者/述べ24人 ・男性の初級介護講座「ケアメンになろう」 2月13日(月), 20日(月), 27日(月) 参加者/述べ48人 八千代台地域包括支援センター、健康づくり課と共催 ・講座受講生同窓会～プロから学ぶ本格コーヒーの入れ方～3月7日(火) 参加者/10人	家庭や地域における男女共同参画の意識づくりを図れた。	積極的な推進が見られた
			18. 家庭や地域に関する学習機会の充実		生涯学習振興課(公民館)	実施した	1高津公民館「高津いきいき学級」(全4回) 参加延人数34人 2八千代台公民館「八千代悠々倶楽部」(全6回) 参加延人数145人 3村上公民館「村上いきいき元気教室」(全6回) 参加延人数96人 4八千代台東南公民館「東南きらめき倶楽部」(全9回) 参加延人数152人 5緑が丘公民館「ときめき倶楽部」(全6回) 参加延人数144人	性別に関わらず家庭生活や地域活動について学ぶことができた。	現状維持
			19. 家庭教育の支援		生涯学習振興課(公民館)	実施した	・未就学児から小中学生の保護者を対象に「家庭教育学級」を開催。 8学級 参加延人数640人 ・1歳児を持つ親子を対象に「1歳児親子学級」を開催。 8学級 参加延人数(親子)1,690人	参加者数の減少が課題である。	現状維持
19-1. 家庭教育の支援 (1) 家庭教育講演会		生涯学習振興課	実施した	子どもの年齢に合わせたテーマで、保護者を対象に講演会を行った。 第1回家庭教育講演会(講師 花まる学習会野外体験部部长 箕浦健治氏) 参加者 104人 第2回家庭教育講演会(講師 明治大学文学部教授 諸富祥彦氏) 参加者 73人 第3回家庭教育講演会(講師 千葉県助産師会助産師 鶴岡利江子氏) 参加者 45人	家庭教育講演会を通して、家庭教育の普及を図ることができた。参加者数の減少が課題である。	積極的な推進が見られた			

【資料3】平成28年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業 具体的な取り組みの進捗状況

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H28年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
I 等しく認めあう									
3 男女共同参画の視点に立った教育の推進									
(2) 家庭や地域における意識づくりの推進	① 家庭や地域における男女共同参画推進のための学習機会の充実と啓発	19-2. 家庭教育の支援 (2) 家庭教育学級だよりの発行	生涯学習振興課	実施した	実施した	平成28年度から「家庭教育学級だよりを」を「家庭教育だよりに」名を改め、家庭教育学級メインの紙面づくりから、家庭教育に関する関連事業も総合的に伝える内容とした。市内の小学生11,148人と中学生5,351人に配布した。	家庭教育に必要な情報を周知できた。	積極的な推進が見られた	
		20. 男女で子育てする意識の啓発	子育て支援課	実施した	実施した	子育てに関するサイトである「にこにこ☆元気」による父親への子育てに関する情報提供や、「子育てにかかわりたいパパのためのしおり」を配布した。また、地域子育て支援センター・すてっぷ21で、父親参加型の教室である「お父さんと一緒にあそぼうよ」を開催した。	夫婦で子育てする意識を啓発できた。また、父親同士の交流や先輩パパからの子育て情報を得る機会を提供できた。	現状維持	
		20. 男女で子育てする意識の啓発	子育て支援課(子ども支援センターすてっぷ21)	実施した	実施した	夫婦で子育てする意識の啓発を目的に、子どもと一緒に遊ぶ体験や父親同士の交流「お父さんと一緒にあそぼうよ」を父親の参加しやすい日程に合わせ、参加する父親が増加した。年6回開催し、136組409人が参加した。	・平日休みの父親が父子だけで来所することもあり、今後は、広報やちよ・子育てハンドブック・ホームページなどに男女共に参加しやすい企画の情報を掲載していく。 ・父親が参加しやすい場の提供と父親向けの行事の開催を子ども支援センター・地域子育て支援センターで企画検討をする。	積極的な推進が見られた	
		20. 男女で子育てする意識の啓発	子育て支援課(保育園)	実施した	実施した	・夫婦一緒に子育てする意識が持てるような内容を盛り込んだ保育園行事(運動会・保育参観・懇談会・発表会など)への参加を促した。 ・園内の掲示物・ちらしによる啓発を行った。 ・地域開放時に「お父さんとあそぼう」のチラシの配布と声かけを行った。	・行事への参加も早めに打ち出したり、行事や情報の掲示方法や伝え方を工夫する事により以前に増して、子育ての分担や子育ての楽しさを感じている保護者の様子が見られた。 ・園内の掲示で、送迎時に夫婦や祖父母に対し周知が図られ、男女で子育てする意識の啓発につながった。	積極的な推進が見られた	
		20. 男女で子育てする意識の啓発	男女共同参画課	実施した	実施した	父親対象の講座「パパと作るランチプレート」を実施。 ・日時:12月3日(土) ・参加者:8組16人	父親が子育てに関わる大切さの意識づくりを図れた。人気講座なので、今後も実施したい。	積極的な推進が見られた	
		20. 男女で子育てする意識の啓発	男女共同参画センター	実施した	実施した	父親対象の講座「パパと作るランチプレート」を実施。 ・日時:12月3日(土) ・参加者:8組16人	父親が子育てに関わる大切さの意識づくりを図れた。人気講座なので、今後も実施したい。	積極的な推進が見られた	
		21. 男性の子育て推進	子育て支援課(子ども支援センターすてっぷ21)	実施した	実施した	No.20の子ども支援センターすてっぷ21の事業と同じ	・平日にも父子で利用する姿が見られ、子ども支援センター・地域子育て支援センターが身近な施設になってきていることや、父親の子育てに対する意識が高まってきている。 ・休日に子どもと一緒に遊ぶ体験や父親同士の交流、夫婦で子育ての意識の啓発を目的に、今後も子ども支援センター・地域子育て支援センターで父親向けの事業の実施をしていく。	積極的な推進が見られた	
II 共に作りだす									
1 政策・方針決定の場への男女共同参画									
(1) 行政における多様な参画の推進	① 審議会等への女性登用の促進	22. 審議会等における女性委員比率目標達成	男女共同参画課	実施した	実施した	女性委員登用状況調査を実施し、現状を把握した。また、調査結果をまとめ庁内に周知し、女性登用の促進を図った。	毎年度庁内に照会することで、継続した啓発ができていく。	現状維持	
		② 審議会等への市民登用の機会均等	コミュニティ推進課	実施した	実施した	市民委員の公募の決定の際にはやちよ男女共同参画プランに掲げた目標値(35%)の達成に努めるものとする旨が含まれる「八千代市審議会等の整理統合及び運営等に関する指針」を確認するよう手引きを含め周知を行い、女性委員の割合を高めるよう促した。	各審議会担当課においてすでに女性委員の割合を高めることの意識は浸透してきていると思われるが、実際は応募者・候補者の男女比に不均衡があるため、結果として現状(31.7%)にとどまってしまっているものと考えられる。	現状維持	
		③ 市女性職員の採用と管理職への登用の促進	職員課	実施した	実施した	性別に関わらず適切な人事管理・職員の採用を行った。 ・女性職員の採用 平成28年4月1日採用 64人中女性24人 平成29年4月1日採用 67人中女性36人 ・女性職員の管理職への登用 平成28年4月1日現在の管理職 132人中女性29人(22.0%) 平成29年4月1日現在の管理職 133人中女性25人(18.8%)	・女性受験生の拡大に向けた取組を実施していく必要がある。 ・今後、女性職員の管理職等への登用及び職域の拡大を図る予定である。	現状維持	
(2) 男女共同参画推進のための指導者の人材発掘・育成	① 指導者育成のための学習機会・交流機会の充実	25. 自主学習グループの育成とリーダーの発掘	男女共同参画センター	実施した	実施した	男女共同参画への理解を深めることを目的に、研修会を実施した。 ・日時:3月15日(水) ・参加者:26人	登録団体の指導者などに男女共同参画推進の意識啓発を図ることができた。	積極的な推進が見られた	

【資料3】平成28年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業 具体的な取り組みの進捗状況

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H28年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
II 共に作りだす									
2 地域での男女共同参画									
(1) まちづくりへの多様な参画の推進	① まちづくりへの男女共同参画			26. 自治会の支援, 育成	生活安全課	実施した	自治会活動事業に補助金を交付した。(1世帯当たり300円補助, 市内自治会数245)また, 開発事業における事前協議の際に, 入居者に対して自治会への加入や結成を働きかけるよう指摘した。	自治会活動の補助を行った結果, 地域活動を支援でき, まちづくりへの多様な参画の推進が図られた。また, 開発事業において自治会への加入, 結成を働きかけたが, 全体の加入率は減少した。	現状維持
				27. 自主防災組織創設, 育成事業	総合防災課	実施した	・新規結成組織, 既存組織に対して補助金の交付 ・各自主防災組織の会長を対象としたリーダー研修会の実施 ・自主防災組織未結成の139自治会に対し, 自主防災組織結成に関するパンフレット等を配布した。新たに3自主防災組織の創設が図られ, 153組織となった。	自主防災組織が行う防災活動に対する補助金の交付や, 各自主防災組織の会長を対象としたリーダー研修会を実施したことにより, 自主的な防災活動の推進が図られ, 地域全体においてまちづくりへの多様な参画が推進された。	積極的な推進が見られた
				28. 防災意識の普及, 啓発	総合防災課	実施した	まちづくりふれあい講座など講話の実施	まちづくりふれあい講座や防災訓練における防災講演などの実施により, 市民の防災意識の普及・啓発が図られ, 地域全体においてまちづくりへの多様な参画が推進された。	積極的な推進が見られた
				29. リサイクル等のイベントの開催	クリーン推進課	実施した	・八千代フリーマーケット実行委員会主催によるフリーマーケットの開催を支援(後援)した。 (開催実績) 5月14日 参加者 800人 10月29日 参加者 900人 3月11日 参加者 600人 ・2016八千代どんと祭に出展, リサイクルフェアブースを出店し, エコグッズの配布とリサイクル工作を行った。 実施日 10月15・16日 来客者 2,000人	女性が主体となっている実行委員会により開催されており, 女性の地域におけるまちづくりへの参画推進につながっている。フリーマーケット実行委員会は10人中8人が女性の委員によって構成されている。今後は委員が主体となって運営できるよう支援していきたい。また, 多くの市民にごみの減量を通じたまちづくりへの参画が図れた。	現状維持
	② 地域活動・ボランティア活動の支援と育成			30. 市民活動サポートセンターの運営	コミュニティ推進課	実施した	・市民活動団体に利用者相互の交流の場を提供する交流支援, 事務的な活動の場を提供する活動支援, 情報の収集と発信の場を提供する情報支援を実施した。 ・また, 市民活動団体が抱える課題の解決を図り, 市民活動が活性化できるよう, 「市民活動サポートセンターホームページ マイページ作成・更新講習会」を開催。 ・ふれあい大学受講生の方々の地域デビューを支援するため, 「地域デビュー講座」を開催。 ・市民活動の周知と, 市民活動団体相互の交流促進のため「やちよ市民活動フェスティバル2016」を開催。 ・市民と市民活動団体の交流や理解を深めるための「地域の活動で仲間を見つけよう!」を開催。	地域活動とボランティア活動の支援と育成につながり, まちづくりへの多様な参画の推進が図れた。	積極的な推進が見られた
				31. 女性の消防団員の事業参画推進	消防総務課	実施した	1 応急手当指導員の資格を持った女性消防団員が, 救急隊員と共に, 市民や中学生に対して救命講習会を行い, 応急手当の普及啓発を行った。 2 総合防災訓練, 消防フェア等, 大規模な防災訓練や地域の訓練等に参加し市民等への救命体験を実施する。 3 住宅用火災警報器普及活動に参加する。 4 幼年消防クラブを対象に火災予防広報を実施する。 5 消防団員を対象に, 普通救命講習会を実施した。 5回 64人	・各種イベントに参加し, 市民に対して, より一層の普及啓発活動ができた。 ・今後も, 女性消防団員の活躍の場所を広げていきたい。また, 男性団員並みの団員増を図りたい。	積極的な推進が見られた
				32. 活動に関する情報提供の充実	青少年課	実施した	地域活動団体・ボランティア活動団体の行う子ども・若者を対象にしたイベント情報を精査し, 市のHP内「はっぴいういんど」にリンクを掲載した。	利用者の増加を図りたい。	現状維持
				33. ボランティア活動の環境整備と育成	健康福祉課	実施した	社会福祉協議会が, 福祉教育の一環として市内小中学校及び高等学校を対象とした各種出前講座事業を行い, 地域活動・ボランティア活動への参画を促した。 ・障害者疑似体験(車いす・アイマスク) ・高齢者疑似体験点字・手話講座 ・災害時の避難所体験等 ・講座実施校: 小学校11校, 中学校1校, 高等学校2校, のべ25回	福祉教育を通して, ボランティア活動の大切さを学べた。	積極的な推進が見られた
				34-1. 地域の人材活用の充実 (1)生涯学習ボランティアバンク	生涯学習振興課	実施した	知識, 技能及び技術を有する人材を登録し, その知識等を学びたい人に紹介する。 ・講師の利用: 7件 ・講座回数: 11回 ・講座参加者数: 340人 下記媒体による周知 ・市HP ・総合生涯学習プラザHP ・チラシ配布回数を増加 ・平成28年6月1日号広報やちよ特集号に紹介記事を掲載。	例年よりも周知方法を工夫し制度利用回数や利用者数, 登録者数の増加につながった。利用の増加を図りたい。	積極的な推進が見られた
				34-2. 地域の人材活用の充実 (2)公民館ボランティア講師制度	生涯学習振興課(公民館)	実施した	各種の技能・能力がある人が公民館でのボランティア活動を行いやすくなるための「公民館ボランティア講師制度」を実施している。 「公民館ボランティア講師制度」の活用を, 公民館主催講座だけでなく公民館を利用する各サークルや地域の方々が利用できるように情報提供を行っている。 ボランティア講師登録者数 78人	「公民館ボランティア講師制度」を通じて, 地域活動・ボランティア活動への参加意識を高める一助となっている。今後も周知し, 利用促進を図りたい。	現状維持
				35. 地域集会所の整備	生活安全課	実施した	地域集会所施設の修繕, 管理運営に補助金を交付した。また, 開発事業における事前協議の際に, 計画戸数が100戸以上の場合集会所用地や集会所等を確保するよう指摘するが, 平成28年度, 該当する所はなかった。	引き続き実施し, 地域活動の支援を図りたい。	現状維持

【資料3】平成28年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業 具体的な取り組みの進捗状況

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H28年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価			
II 共に作りだす												
2 地域での男女共同参画												
(2) 多様な主体のネットワーク化による連携・協働	① 多様な主体の連携・協働			36. 連携と協働による男女共同参画の推進	男女共同参画センター	実施した	各種事業において連携・協働した。 ・男女共同参画週間事業「女性起業家の見本市～やちよの素敵なお店コレクション～」6月25日(土) 出展者/37人 来場者/166人 商工会議所, 商工課と共催 ・女性のための創業セミナー「好きを仕事に！」～私らしいローリスク起業～ 8月4日(木) 参加者/23人 保育/6人 千葉県産業振興センター(よろず支援拠点), 商工課と共催 ・女性学講座「岩崎ちひろー愛と平和の童画を描き続けた」11月22日(火) 参加者/36人 支援団体「らいてうの会」との共催	多様な主体と連携して男女共同参画の推進が図れた。	積極的な推進が見られた			
				37. 地域子育て支援ネットワークの構築	子育て支援課(子ども支援センターすてっぷ21)	実施した	7か所の子ども支援センター・地域子育て支援センターを拠点として, 母子保健事業と子育て支援事業を連携させ, 妊娠前から出産, 乳幼児期までの切れ目のない支援の提供と子育てしやすいまちづくりの推進を図った。子ども支援センター・地域子育て支援センターで地域情報交換会を実施。圏域の特性に合わせて, 子育てアドバイザー(保育士)と保健師がコーディネーターとなりネットワーク化を図った。地域情報交換会 8回開催 参加者数144人	子育て支援関係団体との連携が取りやすくなってきており, ネットワークが構築されてきている。引き続き, 圏域の特性に合わせたコーディネートを行いネットワーク化を推進する。	積極的な推進が見られた			
				37. 地域子育て支援ネットワークの構築	母子保健課							
				38-1. 地域活動団体の支援, 連携 (1)文化団体の支援, 連携	文化・スポーツ課	実施した	市内の文化団体3団体が実施する各種の文化活動に関する事業に対して, 補助金を交付した。また, 文化団体連絡会議を開催し, 団体との連絡調整や意見交換を行った。	1%支援制度への移行ができない文化団体が3つある。また, 市民文化祭参加団体を中心とした文化団体連絡会議を実施し, 団体間の連携を強化するように今後も努めている。	現状維持			
				38-2. 地域活動団体の支援, 連携 (2)青少年育成団体の支援, 連携	青少年課	実施した	・青少年の健全育成を目的とする団体に対し, 活動費の一部を助成した。 ・活動事業に対し後援した。 ・各団体間の連携強化を図ることを支援した。	各団体の会員の高齢化や減少が課題。	現状維持			
				38-3. 地域活動団体の支援, 連携 (3)青少年学校外活動支援事業実行委員会の支援, 育成	青少年課	実施した	学校の休日等に子ども達への様々な体験活動の場や機会を提供している活動団体に対し, 消耗品の提供や備品の貸出及び指導者の講習会・研修会等を実施した。子ども達が地域のボランティアの指導のもと生活・社会・自然等の様々な体験ができるような場や機会を提供した。各団体がもつ知識や情報を共有する場を設ける等の連携強化に努めた。	団体間が連携を強化することができた。	現状維持			
				38-4. 地域活動団体の支援, 連携 (4)PTA連絡協議会の支援, 連携	指導課	実施した	八千代市PTA連絡協議会は, 市内各小中学校PTA会長・副会長を中心に構成されている。総会や研修会を開催し, 子ども・教育・親のために年間を通して活動している。昨年度は, 講師に将棋棋士の羽生善治氏を迎え, 「子どもに伝えたい決断力」をテーマに講演会を実施。ICT機器を活用したデジタル会議にすることで役員会議の回数を減らした。	実際に集まると1つの会議が3時間前後かかり, 会議時間に課題がある。今後もICT機器を活用し, 会議時間を短くすることが必要である。	積極的な推進が見られた			
				38-5. 地域活動団体の支援, 連携 (5)地域活動団体の支援, 連携	生涯学習振興課(公民館)	実施した	子ども会や自治会等の地域団体との連携を強化し, 相互協力体制の充実を図る。また, その他地域活動に従事する各種団体の支援・育成に努める。公民館全体で, 地域の自治会等の総会や役員会の場所提供を行っている。	多様な主体の連携・共同が図れた。今後も継続したい。	現状維持			
				38-6. 地域活動団体の支援, 連携 (6)講座後の自主グループの支援, 連携	教育総務課(郷土博物館)	実施した	八千代土器づくり同好会, 竹細工同好会, 古文書同好会, 篆刻同好会など, 博物館主催講座の受講生OBらが中心となって同好会が組織され, 原則として毎月1回程度の同好会活動を博物館が支援している。その活動の成果を発表する展示会も当館と連携の形で行っている。また, 毎年度の博物館主催講座にも同好会員を講師, 講師補助として, 受講者の指導に当たるなど活躍の場ともなっている。	各同好会との連携により同好会加入者・講座受講者・展示会の見学者も増加し, 多様な主体の連携・協働が図られた。今後も引き続き, 博物館と同好会との連携をさらに深める必要がある。	積極的な推進が見られた			
				39. 関連施設, 機関との連携	生涯学習振興課(公民館)	実施した	各関連施設との連携を図ることにより, 活動の充実に努めた。 1 社会教育施設との連携 公民館, 図書館, 郷土博物館, 文化伝承館, 総合生涯学習プラザ等との連携を図る。 2 男女共同参画課・センター事業への協力。 3 地域子育て支援ネットワーク事業への参加。 4 生涯学習振興課との連携。 5 総合生涯学習プラザの「生涯学習情報提供システム」や「八千代市ホームページ」により, 市民に学習機会を得るための情報を提供している。	多様な主体の連携により, 情報交換の場が広がり, 充実した市民サービスへの一助となった。	現状維持			
40. 広報女性版の発行	広報広聴課	実施した	女性版記者との協力で, 下記の内容で発行した。 ・7月15日号: 女性版記者や商工会議所と協働して「まちゼミ」を紹介 ・1月15日号: 市制施行50周年ということもあり, 女性版の前身・奥さま版と女性版のこれまでの歩みを振り返り, 各時代で女性の視点から記者が取り組んできた成果を再確認できた。	取材では商工会議所にも協力してもらい, 多様な主体との連携・協働により発行できた。なお当事業は, 昭和49年に誕生し, 女性目線で社会や生活について考える企画があっても良いのではということ形になったもので, 目的が十分果たされたことと認識しているため, 29年度をもって終了する予定。	積極的な推進が見られた							

【資料3】平成28年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業 具体的な取り組みの進捗状況

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H28年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
II 共に作りだす									
3 国際社会への理解と交流の推進									
(1) 平和と国際社会への理解	① 国際社会を理解するための意識づくり	41-1. 国際社会を理解するための意識づくり (1)国際平和作文コンクール	指導課	実施した	八千代市内在住の小学校5年生と中学校2年生が課題ビデオを見て考えたこと、もしくは、国際協力、平和、その他、国際社会の一員として考えたことや世界に発信したいことを原稿用紙2枚にまとめる。入選者60人の中から、10人を八千代こども親善大使として、バンコク都に派遣し、表敬訪問、ホームステイなどを通して交流を深め、英語を用いて日本文化を紹介したり、スポーツ交流をすることができた。 平成28年度に設置要領を見直す4回の検討会を開き、選考対象を中学校2年生に、任期を依頼の日から1年間に変更した。	子どもたちの国際社会を理解するための意識づくりが図れた。	現状維持		
			指導課	実施した	・英語の授業 小学校30回(5・6年生のみ)、中学校25回 ・イングリッシュアワー 年10回 小学3～6年の希望者対象、公民館で実施(ALTと一緒に給食・工作) ・英語教材の作成や教員研修へのALTの参加 ・H27までALTの派遣事業は民間業者委託、H28から派遣契約に変更し、協力しながら授業を行えるようになった。 ALTの民間派遣人数 7人 直接雇用 8人	小中学生が国際社会に参加するための意識作りができた。1校1名を目指しているため、今後の増員が課題である。	積極的な推進が見られた		
			男女共同参画課	実施した	下記の各種パンフレット・ポスターを男女共同参画センターロビーに掲示し、周知を行った。 ・13歳で結婚。14歳で出産。恋は、まだ知らない。 ・日本でも人身取引が。 ・気づいてください。日本での人身取引	センター来所者が限られているため、周知効果が低い。	現状維持		
			総合企画課	実施した	1 多文化交流センターにおいて外国人に対し通訳を配置し、各種相談・情報提供を行った。年間相談件数は1,490件で、外国人の増加に伴い、前年度と比較して236件相談件数が増加した。 2 同センター内で小中学校の入学説明会の時期に合わせて学用品を展示し、日本の学校についての情報提供を行った。 3 多言語による生活情報のメール配信を、毎月1～2回程度行った。メールの登録者は、89人から191人に増加した。	日本を理解するための意識づくりが図られた。引き続き実施していく。多言語情報メールの周知を更に図る。	現状維持		
			総合企画課	実施した	外国人へ市国際交流協会主催の日本語教室を案内するとともに、同教室の支援を行った。 <28年度実績> 大人向け9教室・・・生徒数 年間延べ2,159人、国籍数 27ヶ国 子供向け1教室・・・生徒数 年間延べ484人、国籍数 7ヶ国 <27年度実績> 大人向け9教室・・・生徒数 年間延べ2,100人、国籍数 23ヶ国 子供向け1教室・・・生徒数 年間延べ640人、国籍数 9ヶ国	大人向け教室は前年度と比較して生徒数が増加しており、日本語の学習機会をより多くの外国人へ提供できた。日本語を学習したいという外国人のニーズが高いことから、日本語教室の周知及び同教室の支援を継続していく。	現状維持		
			総合防災課	実施した	・多言語(英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語版)パンフレットを支所などで外国人転入者に配布した。また多文化交流センターに配置した。 ・災害用倉庫への多言語カードの配置 ・多言語(英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語)防災情報メールでの災害情報の配信 ・総合企画課国際推進班と共同で外国人のための防災訓練を実施(村上小学校・体育館で実施。46人参加)	自然災害の多い日本を理解するための意識づくりが図られた。	積極的な推進が見られた		
			指導課	実施した	1 児童生徒の教育相談 <28年度実績> 15校、相談者数42人 <27年度実績> 16校、相談者数52人 2 学校生活への適応指導 3 教職員からの教育相談を受けた。 4 保護者対象の教育相談	外国人児童生徒が日本で暮らす理解を深められた。	現状維持		
			総合企画課	実施した	・市国際交流協会が多文化交流センターを活用し実施するアミーゴこども日本語教室及びオープンセサミ(日本人のための英語教室)を支援した。 主催:市国際交流協会、場所:交流室、利用者数:延べ1,451人。 ・多文化交流フェスタを開催。書類の書き方を教えるなど、外国人の日本での日常生活支援を行った。 場所:緑が丘公民館・郷土博物館、参加者数:約180人。	国際社会への理解を深めるとともに、外国人に対するコミュニケーション支援の充実が図れた。	現状維持		

【資料3】平成28年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業 具体的な取り組みの進捗状況

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H28年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価					
II 共に作りだす														
3 国際社会への理解と交流の推進														
(2) 国際交流の推進	① 国際交流関係団体との連携	47. 国際交流協会との連携	総合企画課	実施した	市国際交流協会補助金交付要綱に基づき、市国際交流協会へ補助金を交付し、同協会が主催した各種事業が円滑に実施されるよう支援を行った。 ＜28年度実績＞ 補助金交付額・・・1,080,393円 ＜27年度実績＞ 補助金交付額・・・849,573円	市国際交流協会でする様々な事業への支援となり、国際交流関係団体との連携につながった。	現状維持							
								② 交流機会の充実	48-1. 国際交流事業の充実 (1) 姉妹都市タイラー市との交流事業の支援	総合企画課	実施した	姉妹都市タイラー市との交流は、市民団体である市国際交流協会が派遣・受入れを交互に行っている。 29年度は姉妹都市締結25周年にあたり、記念式典・受入れ準備のため、タイラー市親善訪問団受入実行委員会を立ち上げた。	タイラー市との交流機会の充実が図られた。	積極的な推進が見られた
III 自分らしく生きる														
1 働く場における男女共同参画														
(1) 職場における意識啓発と就労支援	① 企業・団体・公的機関及びその従業員に対する意識の啓発	49-1. 職場における男女平等意識の啓発 (1) 男女平等の意識啓発	商工課	実施した	国・県等からのチラシを窓口に掲示し、周知を行った。 【設置チラシ】 タイトル1「こんなときは労働委員会をご利用ください」 タイトル2「計画的な年次有給休暇の取得促進を。」 タイトル3「社員いきいき！元気な会社」宣言企業募集 タイトル4「次のようなことについては、千葉労働局雇用均等室にお気軽にお問い合わせ、ご相談ください！！」 タイトル5「みんなで考えよう！職場のパワーハラスメント」	必要な人に情報を届ける手段を検討。	現状維持							
								① 企業・団体・公的機関及びその従業員に対する意識の啓発	50. 市職員への意識啓発	職員課	実施した	子育てや家族介護に関する休暇・給付制度等の資料を作成して、周知を図ったが、平成28年度においては、新規の男性職員の育児休業取得者はいなかった。 毎日終業時間に庁内放送を入れ、時間外勤務の抑制やワーク・ライフ・バランスの大切さを呼びかけている。	庁内放送については、毎回異なった内容で周知した結果、大幅な時間外勤務の減につながった。 近年、子育て等に係る他の有給休暇制度が新設されたことから、目標どおりに増えていない。	現状維持
	② 男女共同参画推進のための相談機関等の情報提供	51. 相談機関等の情報提供	商工課	実施した	国・県等からのチラシを窓口に掲示し、周知を行った。 【設置チラシ】 タイトル1「両立支援総合サイト「両立支援のひろば」をご利用ください！」 タイトル2「男女雇用機会均等法 育児・介護休業法 パートタイム労働法に基づく紛争解決援助制度について」 タイトル3「次のようなことについては、千葉労働局雇用均等室にお気軽にお問い合わせ、ご相談ください！！」 タイトル4「仕事と介護の両立モデル」 タイトル5「働きながらお母さん、お父さんになる皆様」 タイトル6「パートタイム労働法の概要」 タイトル7「男女雇用機会均等法のあらまし」 タイトル8「中小企業のための女性活躍推進事業」	必要な人に情報を届ける手段を検討。	現状維持							
								③ 農業に従事する女性の地位向上のための意識づくり	52. 家族経営協定の締結促進	農政課	実施した	女性や後継者等が果たす役割を適性に評価し、積極的に経営に参画できるよう、県等と連携を図りながら、家族経営協定の締結を促進した。平成28年度末時点で28件の協定が締結された。	取組みの性格上、即効性が期待される性質のものではないので継続して取り組んでいきたい。	積極的な推進が見られた
	③ 農業に従事する女性の地位向上のための意識づくり	53-1. 講座の開催 (1) 女性農業従事者を対象とした講座等の開催	農政課	実施した	やちよ農業交流センターにて、女性農業従事者を対象として実施している「やちよ農と食の学び舎」で下記の講習及び視察を行った。 ・ダンボールを使った麺づくり 16人 ・八千代野菜を使ったピクルス作り 4人 ・乳和食を使った健康メニュー 12人 ・発酵の郷神崎（視察） 21人 ・手作りほうちょううどん作り 10人	女性農業従事者の意識啓発と就労支援につながった。	積極的な推進が見られた							
								③ 農業に従事する女性の地位向上のための意識づくり	54-1. 女性リーダーの育成 (1) 女性指導農業士及び農業士等の育成	農政課	実施した	新たな女性農業士・指導農業士の認証に向け、県との協議により対象者の検討を行った。 農業後継者の育成活動及び農業者の社会的評価の向上活動を行っている八千代市農業士等協会にて視察研修会、情報交換会の場で県と協力し意識啓発を行った。 農業士等協会会員 47人のうち 女性農業士 3人 女性指導農業士 2人 (H29. 3. 31現在)	会長に女性が就任することで女性農業者の地位向上へとつながることができた。女性農業士及び女性指導農業士を増加することが課題である。	積極的な推進が見られた

【資料3】平成28年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業 具体的な取り組みの進捗状況

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H28年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
Ⅲ 自分らしく生きる									
1 働く場における男女共同参画									
(1) 職場における意識啓発と就労支援	③ 農業に従事する女性の地位向上のための意識づくり	54-2. 女性リーダーの育成 (2) 女性農業者団体への支援	農政課	実施した	農政課	実施した	農産加工等について学んだ女性農業者組織の八千代農産物活用マイスターの活動及び若手女性農業者組織のJA八千代市フレッシュミズ・アンシャンテ倶楽部の活動に対して県・農協と連携し、フレッシュミズ・アンシャンテ倶楽部からの依頼に応じて総会への出席・イベントの手伝い・視察研修への同行を行った。	関係機関と連携して女性農業者をサポートを行うことで、女性農業者が専門知識を深めることができ、講師として地域活動する人材の輩出につながった。	積極的な推進が見られた
		55. 農業部門における政策や方針決定の場への女性の登用促進	農政課	実施した	農政課	実施した	八千代市農業士等協会会長を女性農業者が昨年度に引き続き務めたことにより、農業政策の諮問機関である八千代市農政審議会の女性委員の割合が3割となった。 26年度 女性委員2人 全体10人 27年度 女性委員3人 全体10人 28年度 女性委員3人 全体10人	引き続き女性委員割合目標値の35%を目指していきたい。 女性農業者の代表就任をサポートすることができた。	現状維持
(2) 就労による経済的自立の支援	① 男女の職域拡大	56. パンフレット等による情報提供	商工課	実施した	商工課	実施した	・国・県等からのチラシを窓口に掲示し、周知を行った。 【設置チラシ】 タイトル1「男女雇用機会均等法のあらまし」 タイトル2「男女均等な採用選考ルール」 タイトル3「次のようなことについては、千葉労働局雇用均等室にお気軽にお問い合わせ、ご相談ください！！」 タイトル4「「間接差別」の対象範囲が拡大します」 ・男女共同参画課と共催の「女性起業家の見本市」に商工課のブースを設けてチラシを掲示し、周知を図れた。	必要な人に情報を届ける手段を検討。	現状維持
		57. 消防本部における女性の職域拡大	消防総務課	実施した	消防総務課	実施した	1 職員募集において、男女の区別なく採用し、配属先についても限定せず意欲・適性に応じた配置に努めた。 2 消防本部・中央消防署の施設には夜間勤務が可能な施設環境を整備した。 3 総務省消防庁が主催した「女子学生のための女性消防吏員の職業体験イベント」に参加し、女性職員の募集に努めた。 4 職員採用については、男女の区別なく募集を行った。	・今後予定されている消防署建設時において、消防本部・中央消防署と同様に施設環境の整備を行う必要がある。 ・今後も、女性職員の募集に努め、男女の区別なく採用していく。	積極的な推進が見られた
		58. シルバー人材センターへの支援	長寿支援課	実施した	長寿支援課	実施した	就労意欲のある高齢者の社会参加を促進するため、運営費の補助等により、シルバー人材センターの運営を支援した。 補助金 24,041,000円	本人の希望を尊重して男女の区別なく、就労の機会及び社会参加を促進することができた。 65歳定年時代を迎え高齢者雇用が推進される中、シルバー人材センターの会員数については、前年度から微減しており、会員数のさらなる拡大に向けた取り組みが課題となっている。	現状維持
(2) 就労による経済的自立の支援	② 職業に関する相談・情報提供機能の充実	59. 職業相談、情報提供の実施	商工課	実施した	商工課	実施した	1. 就業支援として、国の機関である地域職業相談室の維持に努めた。 平成28年度は708件の常用雇用者の就職実績があった。(女性の数についての集計は取っていない。) 2. 千葉県や船橋ハローワークおよび近隣市町村等と共催で、各種就労支援セミナーを行った。 ① 若者対象 ちば地域若者サポートステーション、千葉ハローワーク、ジョブカフェちば、近隣市町村他との協調事業。4回実施。参加者計131人。 ② 女性対象 千葉県ジョブサポートセンター、近隣市町村他との協調事業。全2回実施。参加者計35人。 ③ 中高年対象 千葉県ジョブサポートセンター、近隣市町村他との協調事業。全2回実施。参加者計37人。 ④ シニア対象 株式会社セブン・イレブン・ジャパンとの協調事業。全6回実施。参加者計73人。 ⑤ 全世代対象 ハローワーク船橋との協調事業。全2回実施。参加者計18人。 3. 平成28年4月1日付けで、国の認定を受け市川市・船橋市・八千代市の3市合同で行っている創業支援事業の一環として、千葉県産業振興センターおよび男女共同参画課と協調して、女性向け創業者支援セミナーを行った。 平成28年8月4日実施 参加者39人 4. 各種就労事業案内冊子「八千代市就労支援事業のご案内」を作成し、関係部署に配置・設置を行った。	職業に関する相談・情報提供機能の充実に着実につながっている。	積極的な推進が見られた
(2) 就労による経済的自立の支援	③ 女性の生涯を通じた能力開発支援	60. 技術講習会への参加の啓発	商工課	実施した	商工課	実施した	国・県等からのチラシを窓口に掲示し、周知を行った。 【設置チラシ】タイトル「チャレンジママの再就職ガイド」 「女性起業家の見本市・やちよの素敵なお店コレクション」の周知を図った。	イベント等での周知を今後も行っていきたい。	現状維持

【資料3】平成28年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業 具体的な取り組みの進捗状況

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H28年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
Ⅲ 自分らしく生きる									
1 働く場における男女共同参画									
(2) 就労による経済的自立の支援	③ 女性の生涯を通じた能力開発支援	61. 女性の就労支援	男女共同参画センター	実施した	<p>下記の講座を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画週間事業「女性起業家の見本市～やちよの素敵なお店コレクション～」6月25日(土) 出展者/37人 来場者/166人 商工会議所, 商工課と共催 ・女性のための創業セミナー「好きを仕事に!」～私らしいローリスク起業～ 8月4日(木) 参加者/23人 保育/6人 千葉県産業振興センター(よろず支援拠点), 商工課と共催 ・女性のための再就職応援ナビ(全2回) 10月20日(木), 27日(木) 参加者/延べ21人 保育1人 ・女性の起業応援セミナー「わたしの起業ストーリー」2月4日(土) 参加者/18人 保育1人 	就労のノウハウを学べたことで、女性の経済的自立に繋がっている。実際に起業関係のセミナー参加者から新規起業者がでた。	積極的な推進が見られた		
			職員課	実施した	<p>職場において、女性が男性と均等な機会が与えられ、女性の意欲と能力を十分に発揮することに配慮した人員の配置を行った。性別の区別なく、個々の能力により主査相当職や副主査相当職への昇格を行った。</p> <p>女性職員の副主査相当職・主査相当職への登用 平成28年4月1日現在の副主査相当職 165人中女性62人 平成28年4月1日現在の主査相当職 265人中女性103人 平成29年4月1日現在の副主査相当職 159人中女性59人 平成29年4月1日現在の主査相当職 259人中女性98人</p>	部局により、男女比にばらつきがある。産休・育休者への対応が課題である。	現状維持		
		① 育児・介護休暇等制度、再雇用特別措置等の啓発	63. 子育て、介護と仕事との両立のための制度等の周知	男女共同参画課	実施した	<p>下記の各種パンフレットを男女共同参画センターロビーに掲示し、周知を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉労働局雇用均等室ガイド ・男女雇用機会均等法、育児・介護休業法のあらまし ・働きながらお母さん・お父さんになるみなさまへ ・働きながらお母さんになるあなたへ 	必要な人に情報を届ける手段を検討。	現状維持	
				商工課	実施した	<p>国・県等からのチラシを窓口に掲示し、周知を行った。</p> <p>【設置チラシ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女雇用機会均等法 育児・介護休業法 パートタイム労働法に基づく紛争解決援助制度について ・育児休業や介護休業をすることができる期間雇用者について ・パパの育児休業を応援します!! ・次のようなことについては、千葉労働局雇用均等室にお気軽にお問い合わせ、ご相談ください!! ・職場環境モデル ・仕事と介護の両立モデル ・働きながらお母さん、お父さんになる皆様 ・チャレンジママの再就職ガイド 	必要な人に情報を届ける手段を検討。	現状維持	
		② 労働時間短縮の啓発	64. 労働時間短縮に関する情報提供	男女共同参画課	実施した	<p>「男女共同参画だよりやちよべあ」に「あなたの大事な人の“ワークライフバランス”大丈夫?」という記事を掲載した。</p> <p>「男女共同参画街かどアンケート」を実施し、市内図書館利用者に対し「ワークライフバランスという言葉を知っていますか?」という問いを投げかけた。中央・勝田台・緑が丘の三館で実施し、「知っている」15人、「知らない」59人という結果を得た。また、回答者に啓発チラシを配布した。</p>	「ワークライフバランス」について、易しい文章や親しみやすいアンケートという方法で労働時間短縮の啓発を行えた。	積極的な推進が見られた	
				商工課	実施した	<p>国・県等からのチラシを窓口に掲示し、周知を行った。</p> <p>【設置チラシ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ひとり親」の就業をご支援ください ・両立支援総合サイト「両立支援のひろば」をご利用ください! ・働きながらお母さん、お父さんになる皆様 ・九県都市 一斉NO残業DAY! 	必要な人に情報を届ける手段を検討。	現状維持	
	③ 企業・事業主に対する母性保護の啓発		65. 母性保護に関する啓発活動の実施	男女共同参画課	実施した	<p>「女性労働者の母性健康管理のために」等の各種パンフレットを男女共同参画センターロビーに掲示し、周知を行った。</p>	商工会議所と連携するなど、必要な人に情報を届ける手段を検討。	現状維持	
				商工課	実施した	<p>国・県等からのチラシを窓口に掲示し、周知を行った。</p> <p>【設置チラシ】</p> <p>タイトル1「女性労働者の母性健康管理のために」 タイトル2「次のようなことについては、千葉労働局雇用均等室にお気軽にお問い合わせ、ご相談ください!!」</p>	必要な人に情報を届ける手段を検討。	現状維持	

【資料3】平成28年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業 具体的な取り組みの進捗状況

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H28年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価						
III 自分らしく生きる															
2 家庭における男女共同参画															
(1) 家事・育児への共同参画	① 家事・育児への意識啓発と学習機会の充実	66-1. 子育て体験学習の推進 (1)パパとママの子育て教室	母子保健課	実施した	内容:夫婦で子育てする意識を啓発するために、沐浴実習やパパ同士・ママ同士の座談会をメインとした子育て教室を開催。 実績:12回(半日コース)実施。参加者436人。 参加者のアンケート結果より ・赤ちゃんと生活するイメージができた人の割合…パパ95.4%, ママ99.5% ・赤ちゃんのお世話の方法がイメージできた人の割合…パパ98.1%, ママ99.5% ・夫婦で協力して子育てする大切さを感じた人の割合…パパ99.1%, ママ98.2% ・座談会で交流できた人の割合…パパ85.6%, ママ86.8% ・夫婦で話し合い家族計画を立てることが必要だと思った人の割合…パパ98.1%, ママ97.3% ・たばこの害について理解し、生活を見直すきっかけとなった人の割合…パパ94.0%, ママ98.6%	家事・育児への共同参画意識を啓発できた。今後も改善しながら引き続き実施していくこととする。	積極的な推進が見られた								
								67. 男性のための講座等の実施	生涯学習振興課(公民館)	実施した	八千代台公民館で「男の料理(入門編)」全4回を実施した。参加延人数47人。	家事等を男女が共同で行う意識作りとともに、男性が家事等を身に付け、家庭への男性の参加を促進することができた。	現状維持		
								68. 家族介護者支援の実施	健康づくり課	実施した	家族介護者の介護負担の軽減を目的に下記の2事業を実施した。 1. 「体に負担をかけないための介護について学ぶ講座」開催回数:1回, 参加者数:28人(男:4人, 女:24人) 2. 介護する家族のための交流会 開催回数:1回, 参加者数:8人(男:4人, 女:4人)	市内の要介護認定者の増加傾向に比例して家族介護者も増加していると推察される。交流会においては、参加者が少数ではあるものの性差に偏らない住民参加となった。しかし、講座においては女性参加者がほとんどであった。介護は男女に関わらず、家族に負担のかかるものであるため、男性住民にとっても介護を学べる機会となるよう取り組む。	現状維持		
	(2) 介護への共同参画	① 介護への意識啓発と学習機会の充実	69. 高齢者の介護や虐待に関する講座の実施	長寿支援課(地域包括支援センター)	実施した	・高齢者虐待防止の啓発活動として介護支援専門員を対象に高齢者虐待防止研修を開催(参加者計60人) ・まちづくりふれあい講座を開催。 ①認知症サポーター養成講座(9回273人) ②高齢者福祉に関する講座(高齢者の身近な相談窓口の紹介…2回計80人) ③みんなで守ろう高齢者の権利と生活…1回計50人 ・認知症サポーター養成講座は、まちづくりふれあい講座とは別に市民を対象(計3回49人参加)	介護支援専門員や市民に対し介護への意識が啓発できた。今後もより多くの人に啓発していきたい。	積極的な推進が見られた							
									3 多様な生き方を選ぶための条件の整備						
									(1) 生涯にわたる学習機会の整備	① 学習機会の整備・拡充	70-1. 生涯学習活動の推進 (1)まちづくりふれあい講座	生涯学習振興課	実施した	市民等が主催する集会等に市職員が講師として出向き、市政の説明や専門知識を生かした講座を行うことで、市民の学習活動を支援する。 また、講座を一覧にまとめたパンフレットの作成や、ホームページへの掲載を行った。 パンフレットは市内公共施設に配置し、高齢者学習グループと勝田台南小学校コミュニティスクール利用団体に配布した。 平成28年度は新規2講座を新設した。 まちづくりふれあい講座 平成28年度実績 開催回数:403回 延べ参加人数:13,713人 パンフレット配布部数:1,750部	学習機会の整備・充実が図れた。今後も引き続き行っていく。
71. 講座等の開催やグループ活動への支援	男女共同参画センター	実施した	・登録団体への施設貸出や情報提供を行った。 ・支援団体の広報紙などをセンター内に配架した。 ・「男の雑学塾」において他のサークルを紹介し、入会した人がいた。 ・女性学講座を支援団体「らいてうの会」との共催で行った。	登録団体の活動が支援できた。	現状維持										
71-1. 講座等の開催やグループ活動への支援 (1)市民文化祭の開催. 文化団体活動の支援	文化・スポーツ課	実施した	ポスター(1,000部), リーフレット(2,500部), 広報やちよ, ホームページ, やちよイベント情報メールを配信し, 広報活動に努めた。 開催期間 9月~12月, 参加団体数 33, 参加者数 11,727人	引き続き広報活動に努め, 参観者の増加に繋げていきたい。	現状維持										
71-2. 講座等の開催やグループ活動への支援 (2)講座等の開催. サークルの支援	生涯学習振興課(公民館)	実施した	1 社会的課題や地域課題に視野を向けた講座など, 参加しやすい充実した主催講座の開催 79講座 参加延人数4,972人 2 主催講座からのサークルの立ち上げ支援を実施した。 3 公民館まつりの開催 来場者総数11,213人 4 定期利用許可や, サークル連絡会を実施し, 登録サークルへの支援を行った。 サークル数 366サークル 利用延人数102,825人	学習機会の整備・充実が図れた。	現状維持										
72. 図書館ネットワークの活用	生涯学習振興課(図書館)	実施した	図書館ネットワークにより, 中央図書館を中心として資料・情報の共有化を図り, 利用者に向けた情報提供及び情報発信に努めた。	学習機会の整備・拡充が図られた。今後も利用者のニーズに応じられるようネットワークの活用を行っていきたい。	現状維持										

【資料3】平成28年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業 具体的な取り組みの進捗状況

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H28年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
III 自分らしく生きる									
3 多様な生き方を選ぶための条件の整備									
(1) 生涯にわたる学習機会の整備	② 子ども連れで行くことができる施設の整備	73. 子ども連れで行くことができる施設の整備、活用	73. 子ども連れで行くことができる施設の整備、活用	子育て支援課(子ども支援センターすてっぷ21)	実施した	子育てを通して親自身が成長することを支援していくため、子ども支援センター、地域子育て支援センターで各種親学習支援事業を実施。地域ボランティアの協力により保育し、子ども連れの参加を容易にした。 ・「みんなで食育」(33回)参加者214人 保育人数223人 ボランティア69人 ・子育てワークショップ「おしゃべり広場」25回実施 参加者114人 保育人数133人 ボランティア110人 ・「子育て学習講座」(2回)2か所で実施 参加者数12人 保育人数18人 ボランティア15人。	子ども連れで行ける施設の整備が図れた。今後も親学習支援の事業に子ども連れが参加できるよう、継続的に地域のボランティアの協力を得られるようにしたい。	現状維持	
			73. 子ども連れで行くことができる施設の整備、活用	男女共同参画センター	実施した	下記の講座の実施時に保育ボランティアに依頼し一時保育を準備した。 ・女性のための創業セミナー「好きを仕事に！」～私らしいローリスク起業～ 8月4日(木) 参加者/23人 保育/6人 千葉県産業振興センター(よろず支援拠点)、商工課と共催 ・女性のための再就職応援ナビ(全2回) 10月20日(木)、27日(木) 参加者/延べ21人 保育1人 ・女性の起業応援セミナー「わたしの起業ストーリー」2月4日(土) 参加者/18人 保育1人 ・女性学講座「岩崎ひろー愛と平和の童画を描き続けた」11月22日(火) 参加者/36人	子ども連れでの学習の機会を提供できた。	積極的な推進が見られた	
			73. 子ども連れで行くことができる施設の整備、活用	生涯学習振興課(公民館)	実施した	家庭教育や親子学級を実施する際、に保育ボランティアに依頼し一時保育を準備した。 また、親子で参加できる主催講座を実施した。	子ども連れでの学習の機会を提供できた。	現状維持	
			73. 子ども連れで行くことができる施設の整備、活用	生涯学習振興課(図書館)	実施した	・はじめての絵本コーナーを充実させ、赤ちゃん向けの絵本選びがしやすい環境を整えた。 ・保護者向けの子育ての本を集めた子育てコーナーを充実させ、子ども連れで利用しやすい環境を整えた。 ・中央図書館では無料のショート託児サービス等を行い、保護者がゆっくりと図書館を利用できる環境を整備した。 ショート託児サービス 利用回数151回、人数2,266人	子ども連れでも利用しやすい環境の整備を図った。	現状維持	
			73-1. 子ども連れで行くことができる施設の整備、活用 (1)図書館における児童サービスの充実、利用促進	生涯学習振興課(図書館)	実施した	・0～1歳向け、2～3歳向け、4歳以上向け等年齢に応じたおはなし会を開催した。 ・児童向けのイベントを各館で開催した。(図書館クイズ、映画会等)	子ども連れで行ける施設の活用が図られた。今後も対象者に合わせたサービスを実施していきたい。	現状維持	
	(2) 生きがい対策の推進	① 地域活動への参加の促進	74-1. 高齢者の生きがい対策の充実 (1)単位老人クラブ、長寿会連合会の運営費補助	74-1. 高齢者の生きがい対策の充実 (1)単位老人クラブ、長寿会連合会の運営費補助	長寿支援課	実施した	老人クラブの健全な発展を図るため、老人クラブ及び長寿会連合会への補助金を交付した。 補助金 ・単位老人クラブ分 4,243,000円 ・長寿会連合会分 2,989,600円	会員の高齢化と会員減少について対応する必要がある。高齢者グループの自主的活動を支援し、生きがいを持った地域活動を促進できた。新規会員の獲得が課題である。	現状維持
				74-2. 高齢者の生きがい対策の充実 (2)連合会主催事業運営協力	長寿支援課	実施した	広報などによる情報発信など、長寿会連合会主催の各事業の運営に対し、求めに応じて協力している。今年度は要望がなかった。	今後も要望があれば、対応していく。	現状維持
				74-3. 高齢者の生きがい対策の充実 (3)ふれあい大学校運営	長寿支援課	実施した	市民活動サポートセンターの協力を得て、ふれあい大学校のカリキュラムに組み込み、市民活動団体によるパネルディスカッション、地域活動を始めたきっかけの紹介、登録団体の紹介を実施した。 一般教養コースと健康福祉コースを実施。定員200人、応募者数231人、卒業者数186人、実施日数52日。	高齢者が新しい知識と教養を身につけるとともに広く仲間づくりを図り、高齢者の文化的活動等への参加を促進し、高齢者の生きがい対策の充実を図れた。	現状維持
				74-4. 高齢者の生きがい対策の充実 (4)高齢者学習グループ支援、育成	生涯学習振興課	実施した	平成28年度高齢者学習グループ実績 登録団体数 11団体 会員数 495人 学習回数 111回 延べ参加人数 3,131人	高齢者学習グループの学習活動を支援することができた。	現状維持

【資料3】平成28年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業 具体的な取り組みの進捗状況

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H28年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
III 自分らしく生きる									
3 多様な生き方を選ぶための条件の整備									
(2) 生きがい対策の推進	① 地域活動への参加の促進		75-1. ボランティアの指導力の活用 (1)ふれあい教室	生涯学習振興課	実施した	市に登録された7種目のボランティア指導者を市内の小・中学校、学童保育所及び保育園等に派遣することにより、ボランティア指導者の持つ技術や知識を地域に還元し、地域の教育水準の向上を図るとともに、世代を超えた心の交流の場を提供した。 ・平成28年度実績 延べ参加者数:8,111人 延べ指導者数:1,271人 延べ実施回数:154回 ・平成27年度実績 延べ参加者数:7,759人 延べ指導者数:1,246人 延べ実施回数:138回	市民ボランティアの知識や技能を広く地域の人々に伝えていながら、学びを通じた心のふれあいを図れた。	積極的な推進が見られた	
			75-2. ボランティアの指導力の活用 (2)伝承文化支援活動	文化・スポーツ課(文化伝承館)	実施した	「結の会」などのボランティア団体に協力してもらい、下記の事業を行った。 ・昔遊び事業 竹とんぼ、ペーゴマなど昔懐かしい遊びの体験をしてもらい、次世代へ継承していく 5・10・3月伝承館で実施の他、市教研・市川学園・大和田西小・萱田小へ支援 延べ参加者数 H27:103人 H28:120人 ・物作り事業 昔懐かしい遊び道具などの作り方を習得する。これまで水鉄砲・竹かご・正月飾り・凧・雛人形などを作成。 延べ参加者数 H27:137人 H28:101人 ★昔遊びと物作り事業については、ボランティアスタッフは両方とも「結の会」。H27:22人(男9, 女13), H28:24人(男9, 女15) ・紙芝居と昔話の会 八千代の昔話を素材として館が作成した紙芝居を見たり、絵本の昔話を聞いたり、読んだりする。毎月第1・3水曜日に開催 延べ参加者数 H27:274人 H28:388人 ボランティアスタッフは両年とも4人(男2, 女2)	市民ボランティアの知識や技能を広く地域の人々に伝えていながら、学びを通じた心のふれあいを図れた。 参加者数の減少が課題である。また、男性ボランティアの数が少ないので、呼びかけていきたい。	積極的な推進が見られた	
		② 学習の成果をいかす機会の提供		76-1. 学習成果発表の場の提供 (1)市民文化祭の開催	文化・スポーツ課	実施した	71-1と同じ	学習の成果を活かす機会を提供でき、生きがいにつながっている。	現状維持
				76-2. 学習成果発表の場の提供 (2)公民館まつりの開催	生涯学習振興課(公民館)	実施した	サークル連絡会との共催により、各公民館サークルの作品展示や演技発表の場として公民館まつりを実施している。また、これによりサークル間等の交流機会の充実を図った。 ○市民文化祭への支援 ○公民館まつりの実施 大和田 参加サークル数 36団体 来場者数 1,193人 阿蘇 参加サークル数 20団体 来場者数 429人 高津 参加サークル数 30団体 来場者数 1,225人 勝田台 参加サークル数 44団体 来場者数 679人 八千代台 参加サークル数 53団体 来場者数1,584人 村上 参加サークル数 38団体 来場者数 822人 睦 参加サークル数 20団体 来場者数 664人 八千代台東南 参加サークル数 47団体 来場者数 1,679人 緑が丘 参加サークル数 78団体 来場者数2,478人 大和田・村上合同 参加サークル数 14団体 来場者数 460人	学習の成果を活かす機会を提供でき、生きがいにつながっている。	現状維持
				77-1. 学習成果の活用 (1)スポーツ指導員認定講習会	文化・スポーツ課	実施した	各種スポーツのスポーツ指導員養成を目的とする講習会を開催した。 実施日:平成29年2月4日, 11日, 3月4日, 11日 会場:総合生涯学習プラザ多目的ホール 内容: 1 スポーツフォーラム「障がい者とスポーツについて」66人参加 2 スポーツセミナー「スポーツ障害について」64人参加 3 スポーツセミナー「正しいストレッチについて」94人参加 4 スポーツセミナー「スポーツと食育について」104人参加	スポーツを指導するうえで必要となる知識を取得し、本市のスポーツ指導員の資質の向上に寄与する事業と考える。この講習会は、資格の更新希望者と新規取得希望者、一般参加者の3種類の受講者がいるが、このうち更新希望者は徐々に高齢化が問題となっている。また、新規取得希望者のうち、少年野球とミニバスケットボールの2種目からの参加者が多いが、これら2種目の指導者は子どもの成長とともに指導者も入れ替わるため、指導員としての定着率が低くなっていることが課題である。	現状維持
				77-2. 学習成果の活用 (2)青少年団体指導者養成講座の開催	青少年課	実施した	青少年団体指導者養成講座「友・遊・カレッジ」全5回を開催し、青少年健全育成に必要な知識と技術を身につけることを支援した。参加人数3人。	指導者の資質向上が図れ、地域での青少年育成活動を行うことができた。受講生全員が指導者として活動している。	現状維持
	(3) 男性の多様な生き方への条件整備	① 男性の日常生活支援	78. 男性のための講座等の実施	生涯学習振興課(公民館)	実施した	八千代台公民館「男の料理(入門編)」(全4回) 参加延人数47人	日常生活を支援し、男性の多様な生き方への条件整備につながった。地域での仲間作りも行うことができた。	現状維持	
				教育総務課(郷土博物館)	実施した	下記の同好会と連携し講座を実施。 ・縄文土器づくり同好会 縄文土器づくり講座。受講者延べ56名。縄文土器作品展を併せて開催、見学者1,498名。 ・竹細工同好会 竹細工講座。受講者29名。受講者の作品を展示した「竹細工作品展」を同時実施、見学者1,057名。 ・篆刻同好会 篆刻講座。受講者31名。受講者の作品を展示した「篆刻作品展」を同時実施、見学者730名。	それぞれの講座受講生を中心として同好会が組織され、博物館との連携を深め、博物館主催講座の講師として、また同好会会員による年度活動の成果披露の場としての作品展も充実してきている。学習成果をいかす機会の提供ができ、事業の推進が図られた。28年度も、当館主催講座の受講生の中には、同好会に入会した者もあり、地域活動の拡大支援も充実している。	積極的な推進が見られた	

【資料3】平成28年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業 具体的な取り組みの進捗状況

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H28年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
III 自分らしく生きる									
3 多様な生き方を選ぶための条件の整備									
		(3) 男性の多様な生き方への条件整備	② 男性の参画が少ない分野への参画推進	79. 男性の多様な分野への参画の支援	男女共同参画センター	実施した	下記の講座を行った。 ・男の雑学塾(全6回) 8月24日(水), 9月7日(水), 11日(日)雨天中止, 21日(水), 28日(水), 10月5日(水) 参加者/述べ61人 ・男の料理ビギナーズ編「買い物から後片付けまで」 11月5日(土), 19日(土) 参加者/述べ24人 ・男性の初級介護講座「ケアメンになろう」 2月13日(月), 20日(月), 27日(月) 参加者/述べ48人 八千代台地域包括支援センター, 健康づくり課と共催。	男性の多様な生き方や男性の参画が少ない分野への参画につながった。地域の仲間作りもできた。今後も内容を検討しながら実施していきたい。	積極的な推進が見られた
IV 健やかに暮らす									
1 生涯にわたる心と体の健康づくりの推進									
	(1) 健康づくりの充実	① 市民が主体的に健康づくりに取り組むシステムづくり		80. 地域組織活動の支援	健康づくり課	実施した	やちよ元気体操の普及と住民主体の健康づくりを推進する人材を育成するため「やちよ元気体操応援隊養成講座」を実施した。講座を修了し、やちよ元気体操応援隊(以下、応援隊)として登録した住民の体操グループを支援した。 ・応援隊養成講座:3コース(1コース3回) 受講者85人, 修了者82人, 新規登録者69人 ・応援隊の登録者総数:382人 ・応援隊を中心とした体操グループ数 屋内:53グループ, 屋外:12グループ (うち平成28年度の発足は屋内8グループ, 屋外5グループ)	応援隊の登録者数の増加に伴い、応援隊を中心とした体操グループは増加している。体操グループの多くは自治会館等の屋内で行っているが、より多くの住民が体操を継続できるように公園等の屋外を会場とするグループも増えている。一方、体操グループが少ない地域が明らかになってきた為、そのような地域への働きかけを検討しながら、体操グループ発足に向けたPR活動に努めていく。	積極的な推進が見られた
				81-1. スポーツ、レクリエーション事業の実施 (1)市民体カテテスト	文化・スポーツ課	実施した	実施日:平成28年5月14日(土) 会場:八千代総合運動公園市民体育館 目的:自分自身の体力・運動能力の現状を明らかにするとともに、体育・スポーツの指導と行政上の基礎資料を得る。 実績:53人参加 (1) 体カテテスト 1 64歳以下:握力, 上体おこし, 長座体前屈, 反復横とび, 立ち幅跳び, 20mシャトルラン 2 65歳以上:握力, 上体おこし, 長座体前屈, 開眼片足立ち, 10m障害物歩行, 6分間歩行 (2) ロコモ度テスト会(20歳以上) 立ち上がり, 2ステップ	市民が健康づくりに取り組むきっかけづくりができた。参加者数の増加を図りたい。	現状維持
				81-2. スポーツ、レクリエーション事業の実施 (2)市民レクリエーション大会	文化・スポーツ課	実施した	各種団体と協力して、下記の事業を実施した。 (1) パークゴルフ大会 平成28年9月18日(日) 36人参加 (2) インディアカ大会 平成28年10月16日(日) 270人参加 (3) レクダンス大会 平成28年10月15日(土) 53人参加 (4) グラウンドゴルフ大会 平成28年9月29日(木) 155人参加 (5) ターゲットバードゴルフ大会 平成28年11月20日(日) 19人参加 (6) やちよ歩こう会 平成28年11月22日(火) 25人参加	レクリエーション活動を通して、市民が主体的に健康づくりに取り組む場を提供できた。リピーター以外の新規参加者をもどのように呼び込むかが課題。	現状維持
				81-3. スポーツ、レクリエーション事業の実施 (3)ニューリバーロードレースin八千代	文化・スポーツ課	実施した	実施日:平成28年12月11日(日) 会場:八千代総合運動公園多目的広場(メイン会場) 参加数:5,082人 市民のみならず、県外からも多くの参加があった。平成27年度より、フィニッシュ地点を総合グラウンドとし、コース各地に救急救命士を配置して医療体制の強化を図った。	毎回5,000人を超える参加があり、市民の健康づくりに寄与している。	現状維持
				81-4. スポーツ、レクリエーション事業の実施 (4)ウォークラリー大会	文化・スポーツ課	実施した	参加者 204人 実施日 平成28年11月6日(日) 8キロのコースを家族・友人同士でコマ地図を見ながらゴールを目指す。人との交流及び健康維持・増進、地域の再発見を目的とした事業。	毎年、告知前から問い合わせがある事業に成長し、主体的に健康づくりに取り組める、市民の間に定着した人気の事業だが、市内小・中学校の学校行事と日程が重なると参加者が減少するので、学校行事との日程調整が必要である。	現状維持
				82. 女性の健康の保持増進対策の推進	健康づくり課	実施した	・がん検診のお知らせを講座やちらし(小学生(5・6年)・中学生(全学年)の保護者)で周知した。 ・乳がん検診と子宮がん検診の無料クーポン券を対象者に送付した。 ・電話相談・来所相談では、必要に応じて医療機関及び相談窓口として更年期外来や千葉県「女性のための相談窓口」等の情報提供を行った。 【女性の健康に関する相談件数】電話相談:4件 来所相談:0件	適宜情報提供を行っており、女性の健康の保持増進対策が推進されている。今後も継続していく。 女性の健康づくりの推進については、がん検診の受診率等のデータや市民からの要望等を考慮し、ニーズに応じたものを検討していく。	現状維持

【資料3】平成28年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業 具体的な取り組みの進捗状況

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H28年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
IV 健やかに暮らす									
1 生涯にわたる心と体の健康づくりの推進									
(1) 健康づくりの充実	② 健康診査・健康相談等の実施	健康づくりの充実	83-1. 健康診査の実施 (1) 特定健康診査・特定保健指導	健康づくり課	実施した	<p><特定健康診査・特定保健指導> 40歳以上の国保加入者に特定健診受診券等を個別発送。健診結果より、特定保健指導対象者に利用券等を送付。 1 特定健康診査 受診券発送数 33,652人 受診者数 9,429人 2 特定保健指導 利用券発送数 887人 実施者数 133人(3月末現在)</p> <p><健康診査> 1 後期高齢者健康診査 受診券発送数 20,042人 受診者数 5,695人 2 生保受給者健康診査 受診券発送数 1,451人 受診者数 144人</p> <p>受診率向上対策として、受診券個別発送、千葉県国民健康保険団体連合会への支援依頼(電話による受診勧奨)、ハガキによる受診勧奨、並びに集団健診を実施。</p>	受診率を上げることが課題である。引き続き受診率の向上に努める。	現状維持	
			83-2. 健康診査の実施 (2) 各種がん検診	健康づくり課	実施した	<p>・年齢・性別に応じた各種がん検診の案内を対象者に個別発送 発送数:136,349通 受診者数:胃がん(14,614人)大腸がん(18,840人)乳がん(7,430人)子宮頸がん(7,592人)肺がん(19,972人)前立腺がん(7,159人) ・広報、ホームページ、やちよ健康情報メール、子育て応援モバイル予防接種ナビで周知した。 ・国の「がん検診推進事業」として、対象者に子宮頸がん・乳がんのクーポン券・がん検診手帳を送付し、検診に関する知識の普及と受診勧奨を実施。対象者:子宮頸がん(1,626人)乳がん(1,563人) ・がん検診の精密検査結果未把握者について、一次医療機関に確認(1,624人)することで精密検査の受診勧奨・結果把握に努めた。 ・前年度受診率と比べ肺がん・乳がん超音波検診は増加した。中でも30歳代女性を対象とした乳がん超音波検診については、30.2%と前年度比1.4ポイント増で、過去5年間において初めて30%を超えた。これは、モバイルを活用した周知及び保育室や授乳室を用意し、受診しやすい環境を整備していることも一因と考える。 ・また、厚生労働省による指針改正に基づく胃がん検診に内視鏡検査導入に向け、八千代市医師会と体制整備のため協議検討を重ね、3月に胃がん検診委託医療機関を対象に説明会を2回実施し、29年度からの実施体制づくりを行った。</p>	さらなる事業の充実と受診率の向上に努めていきたい。	現状維持	
			83-3. 健康診査の実施 (3) 成人歯科健康診査	健康づくり課	実施した	<p>・40歳以上の市民を対象に受診券を発送し、委託歯科医療機関で成人歯科健康診査を実施。 発送数(対象者数):116,593人 受診者数:2,520人 ・広報、ホームページで周知のほか、チラシを歯科講演会やその他のイベント等で配布した。 ・平成29年度からの活用を目指し、成人歯科健康診査診査票を「歯周病検診マニュアル2015」に基づいた様式に改訂した。</p>	<p>・成人歯科健康診査診査票の改訂では、問診項目を必要最小限とするなど受診者の負担を減らし健診時間の短縮を図れるよう工夫できた。 ・受診率が伸びず、横ばいであることが課題であるため、引き続き周知を行い受診率向上に努める。</p>	現状維持	
			84-1. 健康相談の実施 (1) 電話・来所による健康相談	健康づくり課	実施した	<p>電話や来所による相談を実施し、必要に応じ受診勧奨や専門相談機関を紹介等を行った。 電話相談 238件 来所相談 52件 相談内容は、電話・来所とも生活習慣病に関すること、メンタルヘルスに関するものが上位を占めている。 健康相談の窓口については、市広報やホームページへの掲載、健康講座や健康診査等に参加した市民にチラシを配布するなど継続的に周知している。</p>	引き続き、やちよ健康情報メール等も活用し、周知に努めていきたい。 専門機関に関する情報は常に変化することから、相談者に適切な情報が提供できるよう情報収集にも努める。	現状維持	
			84-2. 健康相談の実施 (2) 精神保健福祉相談	障害者支援課	実施した	<p>メンタルヘルスほっと相談は日常業務で対応が可能なことから廃止をした。相談業務の一環として、関係機関、障害福祉サービス事業所等と連携を図り相談支援を継続している。</p> <p><実績(延件数)障害者支援課相談件数> 電話相談 2,444件 来所相談 2,871件 訪問 732件</p>	障害を抱えながらも地域で健康な生活が送れるよう支援することができた。	現状維持	
			84-3. 健康相談の実施 (3) 市職員のメンタルヘルス相談	職員課	実施した	<p>外部委託をしたカウンセラーによる月1回のカウンセリング事業「こころの窓口」を実施(予約制)。平成28年度は実数15人、延べ45人が利用。 より予防的な利用を勧めるため、平成28年度より事業名称を変更し、年2回の周知を毎月行った。延べ利用回数は前年度31回から45回と増加した。</p>	今後も早期に相談に繋がるよう支援や周知を図りたい。	積極的な推進が見られた	
			85. 健康に関する知識の普及、啓発	男女共同参画センター	実施した	<p>少人数世帯向けに、旬の野菜を意外な組み合わせで調理する講座。 健康づくり講座 冬野菜を丸ごと使い切ろう! 1月11日(水)、18日(水)、25日(水) 参加者/述べ34人</p>	健康づくりへの意識啓発ができた。	積極的な推進が見られた	
			③ 心身の健康づくり対策の充実	85-1. 健康に関する知識の普及、啓発 (1) 健康教育	健康づくり課	実施した	<p>介護予防を目的に高齢者の健康づくりに必要な運動や口腔ケアの方法、食生活に関する知識の普及啓発を図る講座を実施。 実施回数120回、延べ参加者数4,156人(男:1,365人、女:2,791人)</p>	介護者が男性になることが増加してきており、男性の参加者が増加するよう工夫していきたい。	現状維持

【資料3】平成28年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業 具体的な取り組みの進捗状況

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H28年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
IV 健やかに暮らす									
1 生涯にわたる心と体の健康づくりの推進									
(1) 健康づくりの充実	③ 心身の健康づくり対策の充実		85-2. 健康に関する知識の普及、啓発 (2) ころの健康づくりフェア	障害者支援課	実施した		精神保健分野の理解啓発事業としてころの健康づくりフェアを実施してきたが、平成27年度以降、障害種別に関係ない障害者理解啓発事業講演会に変更し、実施している。発達障害を理解するために 参加者:34人	発達障害の理解促進を図ることができた。参加者を増やすための周知を行ってきたい。	現状維持
			85-3. 健康に関する知識の普及、啓発 (3) 市職員のメンタルヘルス研修	職員課	実施した	・新規採用職員研修 I テーマ:心と体の健康管理 4月7日実施 参加者58人 ・主事研修 テーマ:心のセルフケア 12月12日実施 参加者37人 ・主査補研修 テーマ:メンタルヘルスに関する基礎知識 9月27日実施 参加者27人 ・管理監督者のためのメンタルヘルス研修 4月25日実施 参加者26人が参加した。	メンタルヘルスについての知識を深め、予防対策等について共通理解することができた。	積極的な推進が見られた	
(2) 母子保健の充実	① 個別のニーズに配慮した母子保健の充実		86-1. 健康教育、健康診査、健康相談の実施 (1) 母子健康手帳交付	母子保健課	実施した	・事業内容:妊娠届出書を提出した妊婦に、母子健康手帳を交付する。交付の際は、全ての妊婦に専門職が面接を行い、必要な保健指導や母子保健サービスの情報提供を実施。また、養育支援が必要な家庭を早期に把握し、子ども支援センター・地域子育て支援センターとの連携で妊娠からの継続を支援した。支援が必要な妊産婦がいる場合は、病院と連携している。母子健康手帳交付方法について研修会を行った。 ・実績:平成28年度妊娠届出数は1,465件、子ども支援センター・地域子育て支援センター・ゆりのき台保育園での届出数は666件。妊娠前から継続的にサポートするために母子保健課や地域子育て支援センター等での母子健康手帳交付の周知ポスターを掲示、チラシは近隣医療機関へ配布し、妊娠期より子ども支援センター・地域子育て支援センターにつながるようにしている。「すこやかな妊娠・出産にむけて」のチェックリストの使用を開始し、どの窓口でももれなく母子保健及び子育て支援に関するサービスの情報提供ができ、交付者と妊婦で内容の確認が出来るようになった。	個別のニーズに配慮した母子保健の充実が図れた。今後とも更なる充実を目指したい。	積極的な推進が見られた	
			86-2. 健康教育、健康診査、健康相談の実施 (2) プレママ教室	母子保健課	実施した	・事業内容 1 助産師の講話と妊婦体操 2 栄養士の講話と実習 3 歯科衛生士の講話 4 子ども支援センター・地域子育て支援センターの紹介 ・28年度は10回開催し、参加者は152人。参加率23.1%(対象者:初妊婦659人)	【評価】事業後の参加者アンケートの結果より、「妊娠出産について不安が軽減できた」人の割合が95.4%、「友達づくりのきっかけができた」人の割合が85.5%と、概ね目標は達成できたと考えられる。 【課題】参加率が上がらないのが課題であり、近隣産院等で類似講座が行われているか否かの調査等を行うなど今後の事業のあり方についての検討が必要である。	現状維持	
			86-3. 健康教育、健康診査、健康相談の実施 (3) 健康診査 (妊婦、乳児、幼児)	母子保健課	実施した	委託医療機関等で健康診査を実施。医療機関などが健康診査受診者の健康状態を把握することで、異常を早期発見し、適切な治療や保健指導につなげている。経済的に負担なく、安心して受診できるよう、妊婦健康診査については14回分、乳幼児健康診査については2回分の公費負担を行った。 幼児健康診査については、母子保健事業検討委員会を開催し、健診等の情報共有や検討を行った。 H28年4月から子育てアンケート(厚生労働省の母子保健計画「健やか親子21(第2次)」に基づく調査)の実施と回収を行い、支援が必要な人に対し、早期に養育支援につなげる機会となっている。 ・妊婦健康診査 18,169件(平成28年3月～平成29年2月受診分) ・妊婦歯科健康診査 401件 ・乳幼児健康診査 2,898件(平成28年3月～平成29年2月受診分) ・1歳6か月児健康診査(内科) 1,498件、1歳6か月児歯科健康診査 1,241件 ・2歳6か月児歯科健康診査 623件 ・3歳児健康診査(内科) 1,564件、3歳児歯科健康診査 1,098件	個別のニーズに配慮した母子保健の充実が図れた。今後とも引き続き行っていく。	積極的な推進が見られた	
			86-4. 健康教育、健康診査、健康相談の実施 (4) 訪問事業 (新生児、乳児家庭全戸等)	母子保健課	実施した	〈新生児訪問〉 提出のあった出生連絡票を基に、保健師・助産師による産後早期の育児相談、養育支援を実施し、産後うつ等の発見及び産婦の不安や疑問、トラブルなどが早期に解消できるよう支援する。また、養育支援が必要な家庭を早期に把握し、生活や育児についての支援を行う。 ・出生数からみた出生連絡票の提出率:平成28年度84% ・新生児訪問実績:228件。 〈乳児家庭全戸訪問〉 ・生後4か月までの乳児のいる全家庭を地域に住む子育て経験者である母子保健推進員(一部は保健師、助産師)が訪問し、様々な不安や悩みを聞いたり、子育てに関する情報提供を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境の把握・助言を行い、支援が必要な家庭には適切なサービス提供につなげる。 ・母子保健推進員の資質向上のために、勉強会や研修会を実施している。 ・乳児家庭全戸訪問事業 実績:1,509世帯 1,526人 事業を周知するために母子健康手帳交付時に本事業について説明し、対象者には生後1か月の頃に予防接種関係書類と一緒に事業の案内を送付して周知している。	・新生児訪問では、出生連絡票の提出率はほぼ昨年同様に維持することができた。提出した家庭への支援はほぼできており、出生後からの早期支援につながっている。 ・乳児家庭全戸訪問事業での課題は、訪問しても会えない場合の対応となっている。その場合には理由を把握し、支援が必要な場合は早期から養育支援につなげられるようにしている。 ・平成27年度に引き続き、4か月児赤ちゃん広場で乳児全戸訪問事業のアンケートを実施。子育てに関する情報が得られた人の割合(もともと情報を知っていた人を含めると)98%、不安や悩みについて話しができた人の割合(不安や悩みがなかった人を含めると)94%であった。	現状維持	

【資料3】平成28年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業 具体的な取り組みの進捗状況

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H28年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
IV 健やかに暮らす									
1 生涯にわたる心と体の健康づくりの推進									
(2) 母子保健の充実	① 個別のニーズに配慮した母子保健の充実			86-5. 健康教育, 健康診査, 健康相談の実施 (5)赤ちゃん広場(4か月, 10か月児)	母子保健課	実施した	<p>発達の節目である生後4か月と10か月に「赤ちゃん広場」を実施し, 身体測定, 発達確認や子育てのアドバイスを行うとともに, 個別相談, 母親同士の交流の場を提供した。</p> <p>・4か月児赤ちゃん広場: 事業実施回数125回, 事業参加率78%</p> <p>・10か月児赤ちゃん広場: 事業実施回数125回, 事業参加率76%</p>	<p>【評価】評価アンケートより</p> <p>◆4か月児赤ちゃん広場</p> <ul style="list-style-type: none"> 赤ちゃん広場に参加することで, 疑問に思っていたことが解決できた割合 63% 赤ちゃん広場に参加することで, 不安が和らいだ割合 69% もともと疑問がなかった割合 30% もともと不安がなかった割合 25% <p>◆10か月児赤ちゃん広場</p> <ul style="list-style-type: none"> 赤ちゃん広場に参加することで, 疑問に思っていたことが解決できた割合 88% 赤ちゃん広場に参加することで, 不安が和らいだ割合 82% もともと疑問がなかった割合 12% もともと不安がなかった割合 16% <p>もともと不安や疑問がなかった人を含めると9割を超えており, 概ね事業の効果が得られていると考えられる。</p> <p>【課題】</p> <p>継続支援については, 妊娠期の関わりを大切にしながら子ども支援センター・地域子育て支援センターと密に情報共有し, 相談事業の場で確認し, その後も継続支援できる方法を引き続き工夫していく。また, 欠席者に対して, 家庭訪問や, 来所面接などにより, 状況確認や支援を行っていく必要がある。</p>	積極的な推進が見られた
				86-6. 健康教育, 健康診査, 健康相談の実施 (6)相談事業 (食生活, 歯科, 電話)	母子保健課	実施した	<p>食生活, 歯科, その他育児などに関する相談を受け, 子育てに関する不安や悩みに対応した。市民への電話相談の周知に関しては, 各種事業で伝える, 子育てハンドブック等の配布物への掲載, ホームページや広報への掲載, 小中学生向けに配布する思春期の悩みに関するリーフレットへの掲載で周知を行っている。</p> <p>1. 食生活</p> <ul style="list-style-type: none"> 面接 85件 各事業での面接 1,143件 電話相談 486件 家庭訪問 15件 <p>2. 歯科</p> <ul style="list-style-type: none"> 面接 28件 電話相談 78件 家庭訪問 5件 <p>3. 電話相談</p> <p>育児相談等 9,141件</p>	個別のニーズに配慮した母子保健の充実が図れた。引き続き事業の周知をHPや広報等で行っていく。	現状維持
				86-7. 健康教育, 健康診査, 健康相談の実施 (7)ブックスタートの推進	生涯学習振興課	実施した	<p>絵本を介した親子のコミュニケーションを深めるツールとして, ブックスタートパックを「4か月児赤ちゃん広場」等で1,779パックを配布した。</p>	乳幼児期の子育て支援につながっている。	積極的な推進が見られた
				87. 食育の取組	母子保健課	実施した	<p>ア やちよ食育ネットワーク協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業生産者をゲストに迎え食育授業を行う, 食育推進事業「めざせ! 食の達人 農業の先生とのふれあい授業」の実施について市内全小学校に周知を図ったところ, 13校でこの事業を実施し, 企画・運営・評価を「やちよ食育ネットワーク協議会」で実施した。 会議開催 協議会1回, 分科会1回, 協議会・分科会合同会議1回 広報紙「やちよ食育マガジン」の発行 1回(第23報) 「学校での食育を推進するための学習会」を実施した。 <p>イ 母子保健・子育て支援事業等での食育</p> <p>妊娠期から幼児期への継続した食育事業を子ども支援センター・地域子育て支援センター(子育て支援課)と連携して実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 妊娠 期 プレマ教室での食育(プレマ教室参加 152人) 乳 児 期 4か月児・10か月児赤ちゃん広場事業での食育(参加者2,507人と保護者) 幼 児 期 子ども支援センター・地域子育て支援センター(もうすぐ1歳半おやこ広場(参加者717組とその保護者), みんなで食育事業(41回参加親子568人), 子育て応援ポケット事業での食育(相談人数58人 リーフレット配布枚数 4,986枚), 公民館・サークルからの依頼食育講座(4回46組) 	<p>(1) やちよ食育ネットワーク協議会の活動</p> <p>今後は小学校が主体的, 継続的に取り組めるようサポートしていくことが課題であり, ネットワーク協議会で検討し, 関係者へ周知していく。</p> <p>(2) 母子保健・子育て支援事業を中心とした食育</p> <p>今後も子ども支援センター・地域子育て支援センターと連携を深め, 乳幼児期の食育の充実に向け取り組みを検討していく。</p>	積極的な推進が見られた
				87. 食育の取組	農政課	実施した	<p>前項アのやちよ食育ネットワーク協議会及び同分科会に参加し, 情報共有を行った。</p>	目標の推進に向けて協力できた。	現状維持
				87. 食育の取組	保健体育課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> 市内産の食材を年間を通じて学校給食に使用した。 市内産エコにんじんを使用して「学校給食エコにんじんウエーク」等, 特色のある取り組みを実施。 「めざせ食の達人 農業の先生とのふれあい授業」2学期に市内全小学校で実施。 栄養教諭及び, 学校栄養職員による食に関する授業の実施。 児童生徒の野菜への関心を深めるために, 「給食だより」に野菜のコーナーを設けて, 「野菜パクパク 元気モリモリ」を掲載した。 	<ul style="list-style-type: none"> 農業の先生とのふれあい授業を実施することで, 農業への関心と食物への感謝の気持ちを高められた。 栄養教諭・学校栄養職員が授業を行うことにより, 給食を生きた教材として活用し食に関する知識を学習でき, 食育の推進が図れた。 	積極的な推進が見られた

【資料3】平成28年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業 具体的な取り組みの進捗状況

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H28年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
IV 健やかに暮らす									
1 生涯にわたる心と体の健康づくりの推進									
(2) 母子保健の充実	① 性に関する心とからだの保健事業の推進		88. 思春期の生と性に関する取組	母子保健課	実施した	<p>〈「八千代市思春期保健ネットワーク会議」を開催〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議5回、作業部会2回開催 ・委員：9人 <p>医療、教育、保健、NPO法人、保護者の代表など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業部会員8人 <p>〈リーフレットの配布〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生に向けて、性に関する相談機関や正しい知識が得られるサイトを紹介するリーフレットを市内中学校1年生及び3年生に配布(7,654枚)。保護者にも読んでもらうようにした。 ・リーフレットの配布について保護者へのアンケートを実施し、「リーフレットを活用してお子さんと話をすることができる」と回答した方が64%で、昨年度より増加した。 <p>〈大人に対しての啓発事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期保健シンポジウム「あなたのお子さんが被害者かも・・・～スマホの恐さについて～」の開催(参加者70人) ・思春期保健ニュースレターの配布(第15報・8,585枚) <p>〈アンケートの実施〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもへの生と性の教育の充実に関する取組として作成した「八千代市オリジナル生と性の教育教材」の周知を行い、併せて「八千代市オリジナル生と性の教育教材」の活用状況や授業の実際を把握するため、市内全中学校で実施。11校中7校で活用実績があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期保健シンポジウムの参加者が少なかったため、周知方法と開催時期の検討が必要。 ・リーフレットの配布については、効果が上がっていると思われる。 ・「八千代市オリジナル生と性の教育教材」の更なる活用の周知と内容の更新が課題。 	積極的な推進が見られた	
			88. 思春期の生と性に関する取組	保健体育課	実施した	<p>前項の思春期保健ネットワーク会議に参加し、性に関する心とからだの保健事業の推進を図った。</p>	目標の推進に向けて協力できた。	積極的な推進が見られた	
			89-1. 性教育の推進 (1) 小中学校における性教育の推進	保健体育課	実施した	88と同じ	88と同じ	積極的な推進が見られた	
			89-2. 性教育の推進 (2) 公民館における性教育の推進	生涯学習振興課(公民館)	実施した	<p>思春期の子どもを持つ保護者を対象にした家庭教育学級の中で思春期の子どもとの関わり方を取り上げ、性の問題などについて学んだ。</p>	参加者数が少ないことが課題であり、周知の方法等の検討が必要である。	現状維持	
2 自立した生き方を支える福祉の充実									
(1) 多様な子育て環境の整備	① 保育ニーズに合わせた保育事業の充実		90-1. 保育園事業の充実 (1) 障害児保育の推進	子育て支援課	実施した	<p>障害児保育実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 公立保育園 7園:25人 私立保育園 12園:26人 <p>保育を必要とする障害児の受入れを行った。また、児童発達支援センターとの連携を図り、障害児保育の実技指導研修会を外部講師を招き実施し、保育環境の向上を図った。</p>	職員の確保が難しいため、年度途中での障害児の受入れが課題である。	現状維持	
			90-2. 保育園事業の充実 (2) 保育園の地域開放の促進	子育て支援課(保育園)	実施した	<p>市立保育園の園庭及び保育室を月1～2回開放し、行事を行うとともに子育てについての相談及び情報提供を行っている。東南自治会館の協力により年5回は自治会館で実施。また、八千代台東町会の協力による遊びの広場の実施。</p>	親同士の交流も図れ、地域に根付いた事業となっている。担当クラスを持たないフリー保育士の配置が課題となっている。	現状維持	
			90-3. 保育園事業の充実 (3) 延長保育の推進	子育て支援課	実施した	<p>女性就労の増加や就労形態の変化等に対応し、公立保育園6園・民間保育園等25園にて、午後7時までの時間外保育を実施し、公立保育園2園においては、午後8時まで時間外保育を実施した。</p> <p>新設園を含む全園において、12時間開所を実施することができ、公立保育園2か所で13時間開所を実施することが出来た。</p>	今後の維持・拡大については、引き続き、職員の確保が課題となる。	現状維持	
			90-4. 保育園事業の充実 (4) 産休明け保育の推進	子育て支援課	実施した	<p>女性が出産後も就労を継続できるよう産休明け保育を公立保育園8園・民間保育園21園で実施した。</p>	定員もあり時期・地区によっては対応できないため、待機児童が出ている。	現状維持	
			90-5. 保育園事業の充実 (5) 乳児保育定員の拡充	子育て支援課	実施した	<p>乳児保育については、公立保育園8園、民間保育園13園、認定こども園3園で行い、さらに平成27年度に公募した地域型保育事業のうち、小規模保育事業所7か所を平成28年度より開所し、0歳児30人、1～2歳児95人、合計で125人分の定員を拡充した。</p> <p>また、定員拡充に向けた様々な事業形態について相談を受け付け、平成29年度からの定員の拡充に向け、公募を行い、八千代市保育所等設置・運営事業者審査会を開催し、事業者を選考した。</p>	定員を拡大することにより、新たな申込者が増え、潜在的な保育ニーズが表面化されるため、待機児童は増加傾向にある。	積極的な推進が見られた	
			90-6. 保育園事業の充実 (6) 私立保育園等に対する助成	子育て支援課	実施した	<p>八千代市新保育ガイドラインに沿った保育内容の充実と施設運営の円滑を図るための助成を行った。</p> <p>私立保育園13園、認定こども園5園の計18園に助成を実施した。</p>	市内のどの保育園・認定こども園でも、八千代市新保育ガイドラインに沿ったサービスが受けられており、保育環境の整備が図れた。	現状維持	

【資料3】平成28年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業 具体的な取り組みの進捗状況

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H28年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
IV 健やかに暮らす									
2 自立した生き方を支える福祉の充実									
(1) 多様な子育て環境の整備	① 保育ニーズに合わせた保育事業の充実			90-7. 保育園事業の充実(7)一時預かりの推進	子育て支援課	実施した	保護者の就労・就学や冠婚葬祭、または育児に伴う負担軽減などを目的に、一時預かりをした保育園に対し補助金を交付した。 平成28年度は述べ人数5,003人の児童の預かりに対して補助金を交付した。	保育ニーズに合わせた保育事業の充実が図れた。	現状維持
				90-8. 保育園事業の充実(8)休日保育の実施	子育て支援課	実施した	ゆりのき台保育園1園で、親の就労等で休日(日曜日、祝日、年末)に保育が必要な児童を預かった。利用者数:延べ355人	事業の維持・拡大については、職員確保が課題である。	現状維持
				91. 病児保育事業	子育て支援課	実施した	病気などにより集団保育等が困難な児童を一時的に預かっている。市内一箇所(勝田台 あべクリニック)に委託し、実施している。 利用児童数:1,384人	課題は実施場所が市内に一箇所しかないことである。	現状維持
				92. ファミリー・サポート・センター事業の充実	子育て支援課(子ども支援センターすてっぷ21)	実施した	・育児支援・産後支援として保育ニーズに対応した相互援助活動を実施。活動件数2,164件。会員数801人(依頼会員643人、両方会員52人、協力会員106人) ・入会の手引きを子ども支援センター・地域子育て支援センター等に配布。 ・子ども支援センター・地域子育て支援センターにPRの為「おしえて!ふあみさほ」を年8回実施し56人参加した。 ・基礎研修会(産後支援2回・育児支援5回)講習会や交流会を実施。 ・救急救命講習会など年14回開催。参加総人数284人	課題は協力会員・両方会員が不足していることである。	積極的な推進が見られた
	② 学童保育の充実			93. 学童保育事業の充実	子育て支援課	実施した	放課後帰宅しても保護者の就労等の理由により適切な保育を受けられない小学校1年生から6年生までの児童を23箇所の学童保育所で保育する。 平成28年度は施設整備を行い、南高津学童保育所他5箇所の学童保育所の定員数を145人分増やした。	子育て支援の充実が図れた。	積極的な推進が見られた
				94. 安心して子育てができる地域づくり	子育て支援課(子ども支援センターすてっぷ21)	実施した	母子保健課と子育て支援課が連携し、子ども支援センター・地域子育て支援センターを拠点として妊娠出産、乳幼児期までの切れ目のない支援を実施し、遊びと交流の広場の利用につなげた。 様々な相談やニーズに応じた支援や情報提供を行った。(平成28年10月から子ども・子育て支援法に基づく利用者支援事業として実施。)	母子保健課と子育て支援課が連携することで切れ目がない支援につなげ、子育て支援の充実が図れた。	積極的な推進が見られた
	③ 子育て支援の充実			94. 安心して子育てができる地域づくり	母子保健課		・妊娠届出数 1,465件(母子保健課799件 子ども支援センター・地域子育て支援センター・ゆりのき台保育園666件) ・各事業参加者数と対象者数に対する割合 4か月児赤ちゃん広場 1,251人参加 78% 10か月児赤ちゃん広場 1,256人参加 76% もうすぐ1歳半おやこ広場 722人参加 44% ・全子ども支援センター・地域子育て支援センター開放日数 1,506日 全利用人数 60,948人 ・公立保育園地域開放日数 45日 1,075人		
				95. 子ども相談センターの充実	子ども福祉課(子ども相談センター)	実施した	1 18歳未満の子どもと家庭(妊産婦を含む)の総合相談窓口として、電話、面接、家庭訪問による個別支援と、保護者向けのグループ支援に取り組んだ。また、児童虐待の未然防止・対応に取り組み、子どもの健全育成を支援した。 福祉、保健、教育等の専門職5人と家庭相談員3人の体制により、関係機関と連携しながら、電話・面接・訪問等を通して、継続的に相談援助を実施した。 ・相談件数:1,092件(新規731件+前年度継続361件) ・延べ対応件数:26,307件 2 要保護児童対策地域協議会の開催:代表者会議1回、実務者会議3回、進行管理連絡部会12回、個別支援会議50回 児童虐待未然防止と適切な対応のため、要保護児童対策地域協議会の運営と関係機関向け虐待防止研修の開催等により、関係機関の連携強化と専門性の向上に努めた。 3 関係機関向け研修及び啓発:21回開催 595人参加 4 保護者向け「叩かない・どならない子育て講座」の開催:3回1コース実施 延べ9人参加	他機関と連携しながら子育て支援の充実が図れた。 グループ支援では、対象者の背景が成育歴(被虐待体験)、病气(精神疾患等)、経済状況など複雑な事情を抱えていることが多いことから、個別的支援(訪問や電話)や医療機関での治療と並行してグループ支援を行うことが必要であると考えられる。	積極的な推進が見られた
				96. 地域子育て支援センター機能の充実	子育て支援課(子ども支援センターすてっぷ21)	実施した	妊娠期の早い時期から子ども支援センター・地域子育て支援センターの利用につなげたり、子育て相談などを実施。保育士、栄養士、看護師など専門職の特徴を生かした支援を各種事業、遊びと交流の広場で実施できた。 ・母子健康手帳届出数666件(土曜日交付97件) ・マタニティ広場40回136人 ・全数対象事業(4か月児赤ちゃん広場、10か月児赤ちゃん広場、もうすぐ1歳半おやこ広場)参加者数3,229人 ・みんなで食育33回437人 ・子育て応援ポケット(中央ポケット)実施回数92回952人 ・子育てワークショップ「おしゃべり広場」25回114人 ・遊びと交流の広場 年間利用者数60,948人 ・相談件数1,947件 ・利用者支援事業(基本型)23件	利用者の拡大が課題である。	積極的な推進が見られた
				97-1. 講座等の開催(1)子ども教室、家庭教育講座等	生涯学習振興課(公民館)	実施した	児童の健全育成を目指し、子どもの発達段階に合わせた親の関わり方を学ぶ機会や、子育てに関する情報提供及び親同士の交流の機会として講座を開催した。 1 保護者対象講座(家庭教育学級)8講座 参加延人数640人 2 1歳児親子学級(市内7公民館8会場 各全6回) 参加延人数1,650人 3 親子対象講座(陶芸、木工、料理等)21講座 参加延人数747人 4 青少年対象講座(茶道、書き初め、工作等)16講座 参加延人数552人	主催講座の実施により、児童の健全育成及び親の交流機会の充実を図ることができた。家庭教育学級の参加者数の減少が課題である。	現状維持

【資料3】平成28年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業 具体的な取り組みの進捗状況

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H28年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価	
IV 健やかに暮らす										
2 自立した生き方を支える福祉の充実										
(1) 多様な子育て環境の整備	④ 児童の健全育成・親の交流機会の充実		97-2. 講座等の開催 (2)子どもと本の講座、おはなし会	生涯学習振興課(図書館)	実施した	下記の事業を開催した。 ・0～1歳向け、2～3歳向け、4歳以上向け等年齢に応じたおはなし会の定期開催 ・保育園対象のおはなし会 ・季節に合わせた特別おはなし会(こわいおはなし会等) ・ボランティアや保育士向けの読み聞かせ講座 ・本を使った調べ学習等の各種講座	様々なおはなし会やイベントを開催し、図書館での交流の機会を設けることができた。より多くの人に参加してもらえるように、広報活動を活発に行っていききたい。	現状維持		
			98. 親学習支援事業の実施	子育て支援課(子ども支援センターすてっぷ21)	実施した	子育て中の親を対象に下記の事業を行った。各事業でアンケートをとり、事業の評価を行っている。 ・食を通じて育児力・生活力をつけるための「みんなで食育」:33回実施 437人☆離乳食の相談も多いため、離乳食の講座の開催を計画し4回実施した地域子育て支援センターもあった。 ・専門職として伝えたい子育てのワンポイントをまとめて紹介している「子育て応援ポケット」:(中央ポケット実施回数)92回 952人 ・ワークショップをしながら子育てについての気づきを得て、育児力を向上させる子育てワークショップ「おしゃべり広場」:25回 114人	親の交流機会の充実と学習支援が図れた。	積極的な推進が見られた		
	① 経済の安定と住環境の整備		99. 母子、父子、寡婦福祉資金の貸付	子ども福祉課	実施した	母子家庭・父子家庭又は寡婦の経済的自立と生活意欲の助長及びその児童の福祉の向上を図るため、各種資金を無利子又は低利子で貸し付けた。(県の事業であり、市は受付窓口) 平成28年度貸付数 13人(20件)	ひとり親家庭の経済的な援助につながった。	現状維持		
			100. ひとり親家庭等の医療費助成	子ども福祉課	実施した	ひとり親家庭等に対し、児童が満18歳に達する年度(一定の障害を有する場合は20歳に達した月末)まで、医療費の一部を助成した。 医療費の助成を受けた人 延べ1,515人	ひとり親家庭の経済的負担の軽減を図ることができた。	現状維持		
			101. ひとり親家庭の児童育成のための経済的支援の充実	子ども福祉課	実施した	低所得のひとり親家庭に対して、児童扶養手当の支給を行った。 1,130人(平成29年3月末)	ひとり親家庭に対して、経済的な支援ができた。	現状維持		
			102. 母子生活支援施設への入所	子ども福祉課	実施した	生活上のいろいろな問題のため、児童の養育が充分にできない場合、母子で施設に入所させ、生活指導、就労支援、保育の援助を行った。 平成28年度実績 2世帯	母子が安心して生活できる場を提供することができた。	現状維持		
			103. 高等職業訓練促進支援事業及び自立支援教育訓練助成事業	子ども福祉課	実施した	高等職業訓練促進給付金を、看護師・准看護師・介護福祉士・保育士・理学療法士・作業療法士の資格取得のために養成機関で修業しているひとり親家庭の母(父)親へ支給した。H28 1人 自立支援教育訓練給付金を、雇用保険の教育訓練指定講座を受講したひとり親家庭の母(父)親へ支給した。H28 2件	高等職業訓練促進給付金の支給により、資格取得のための生活費の負担を軽減することができた。また、対象者が資格取得により増収が見込まれる状況となった。 自立支援教育訓練給付金の支給により、受講料の負担を軽減することができた。また、対象者が資格取得により増収が見込まれる状況となった。	現状維持		
			104. 母子世帯向け市営住宅	健康福祉課	実施した	母子世帯向け市営住宅として24戸整備しており、平成28年度末時点で23世帯が入居。	住環境の整備が図れた。今後も母子家庭の居住の安定を図るため、母子世帯向け市営住宅を供給していく。	現状維持		
			105. ひとり親家庭等日常生活支援事業	子ども福祉課	実施した	義務教育終了前の児童がいるひとり親家庭で、親の急な病気や就労などで子どもが見られない時に、家庭支援員が児童の保育などの支援を行った。 平成28年度 実利用者数8人 延べ利用回数287回	ひとり親家庭の生活支援となっている。	現状維持		
			106. 母子、父子自立支援員による情報の提供及び相談の充実	子ども福祉課	実施した	ひとり親家庭の日常生活や子育て等に関する相談及び情報提供を行った。 〈母子・父子自立支援員による相談件数〉 生活一般に関すること 541件 児童に関すること 58件 経済的支援・生活援護に関すること 593件 その他 7件	ひとり親家庭の生活支援となっている。	現状維持		
			③ 緊急時対応の充実		107. 緊急時の児童相談所との連携	子ども福祉課(子ども相談センター)	実施した	保護者の疾病や出産等により子どもの養育が困難な場合に、子どもショートステイ事業を実施し、子どもショートステイ事業が利用できない場合は、当該児童の情報を児童相談所に提供し、児童相談所が必要に応じて一時保護又は児童福祉施設入所・里親委託等の措置を講じた。 子どもショートステイ事業は、3歳未満児を対象とし、利用件数10件、延べ日数30日。事業の利用が必要な家庭へ周知がされるよう、広報のほか、母子保健推進員の訪問時や、1歳半健診の際にちらしを配布している。また、本事業の利便性向上の一環として、利用決定者で出産等の緊急要件による土日祝日の利用変更・中止申請について、実施施設との調整を行い平成29年1月より対応が可能となった。	子ども未来サポートセンターやちよとの連携により、緊急時対応の充実が図れた。引き続き本事業の周知徹底と、本事業の利便性向上にむけて、実施施設との調整を続けていきたい。	積極的な推進が見られた
					108. 地域包括支援センターにおける相談事業	長寿支援課(地域包括支援センター)	実施した	高齢者の介護や老後の心配、健康や医療、福祉に関すること、その他生活全般の悩みについて、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員が相談を受け、適切な相談機関や福祉・介護サービスなどの情報提供、助言を行う。 市内6箇所の地域包括支援センター延べ対応件数(訪問・電話・来所等)56,659件	高齢者の生活や家族の介護負担軽減等の支援を実施し、高齢者福祉の充実が図れた。今後も継続して相談・支援にあたる必要がある。	現状維持
	(2) ひとり親家庭の自立の推進									
	② 生活支援の充実									
	(3) 高齢者・障害者福祉の充実	① 自立援助の推進								

【資料3】平成28年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業 具体的な取り組みの進捗状況

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H28年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
IV 健やかに暮らす									
2 自立した生き方を支える福祉の充実									
(3) 高齢者・障害者福祉の充実	① 自立援助の推進		109-1. 日常生活用具、補装具の給付と貸与(1)高齢者日常生活用具給付等事業	長寿支援課	実施した		前年度の所得税が非課税の65歳以上のひとり暮らし高齢者に対して、安心して生活ができるように、電磁調理器などの生活用具を給付・貸与した。 給付:電磁調理器 2件, 火災警報器 1件, 自動消火器2件 貸与:老人福祉電話 5件	高齢者の自立した生活を支援できた。	現状維持
			109-2. 日常生活用具、補装具の給付と貸与(2)日常生活用具費及び補装具費の支給	障害者支援課	実施した		・日常生活用具費の支給件数 1,439件 障害児・者、難病患者等の日常生活の便宜を図るために、盲人用時計、特殊寝台、電気式たん吸引器、スチーム器具等を購入する費用を支給した。 ・補装具費の支給件数 購入費 186件, 修理費 95件 身体障害者等の日常生活の効率向上を図るために、義肢器具、車椅子、補聴器等の購入・修理する費用を支給した。	障害児・者、難病患者等の自立した生活を支援できた。	現状維持
			110. 入浴サービス事業	障害者支援課	実施した		入浴が困難な重度の障害児・者、難病患者の健康増進と介護者の負担を軽減するために、自宅で入浴サービスを行った。 入浴実人数 10人 利用延件数 86件	体を清潔に保つことができ、家族の介護負担を軽減することができた。入浴回数については、利用者の生活の質の向上を図る上では検討課題である。	現状維持
			111. 介護用品購入費助成事業の実施	長寿支援課	実施した		自宅において寝たきり及び重度の認知症である高齢者を介護している家族に対して紙おむつなどの介護用品購入費の一部を助成した。 利用件数 1,873件	介護者及び家族の経済的・精神的負担が軽減された。	現状維持
			112. 訪問指導の実施	健康づくり課	実施した		保健師、理学療法士等が高齢者や障害者、生活習慣病リスクの高い住民を訪問し、住環境や生活状況等の評価に基づき、これらの改善を目的とした提案または助言を行う。 訪問実績:実数43人(延べ74人)	高齢者や障害者の自立と介護者の身体的・精神的負担の軽減につながった。	現状維持
	② 緊急時対応の充実	113-1. 短期入所、緊急一時保護(1)高齢者緊急一時保護事業	長寿支援課	実施した		災害時・事故等緊急時に際し、保護者が不在のため、在宅生活が困難な要保護高齢者を一時的に指定した施設への保護を行う。 平成28年度実績なし	平成28年度は実施者がいなかったが、今後も実施予定。	現状維持	
		113-2. 短期入所、緊急一時保護(2)障害児、者の短期入所事業	障害者支援課	実施した		障害児・者を在宅で介護している家族が、疾病等により介護が困難となった時に、短期間施設に入所し、入浴、排泄及び食事の介護その他必要な支援を行う。 実人数 93人 延件数 359件	緊急時の対応ができた。今後も実施していく。	現状維持	
		114. 緊急通報システム設置	長寿支援課	実施した		ひとり暮らしの高齢者が急病など緊急時に即時に連絡がとれるように緊急通報装置を設置した。また、付属機器として孤独死防止の見守り機器を設置した。 新規設置数 123件	ひとり暮らしの高齢者の安心・安全が図られた。	現状維持	
	③ 地域のサポート・ネットワークへの支援	114. 緊急通報システム設置	障害者支援課	実施した		ひとり暮らしの身体障害者手帳1級・2級所持者が、急病などの緊急事態のときに即時連絡が取れるよう、緊急通報装置を設置する。利用者からの通報があった場合に、委託された業者が即時に必要な対応を行なう。 実人数 7人 利用延件数 78件	障害者の緊急事態への不安を軽減し、緊急対応ができた。	現状維持	
		115. 徘徊高齢者家族支援サービス事業の推進	長寿支援課	実施した		徘徊する心配のある高齢者を介護している家族が、行方不明になった高齢者を専用端末によって探索し、早期発見できるよう安全の確保に努めた。 利用延件数 131件	緊急時の対応の充実が図れた。	現状維持	
			116. SOSネットワーク事業の推進	健康福祉課(福祉総合相談室)	実施した		行政防災用無線を利用することにより、徘徊により行方不明となった高齢者等を早期に発見・保護し安全の確保を図る。 また、徘徊高齢者等情報メール(やちよ情報メール)も配信することにより市民からの情報収集を図る。 28年度実績 5件	緊急時の対応の充実が図れた。	現状維持
	V みんなで推進する								
1 連携・協働体制の構築									
(1) 市民参加の推進	① 男女共同参画事業への市民参加の推進	117. 市民参加の推進	男女共同参画課	実施した			やちよ男女共同参画プラン懇話会 2月14日(火)実施 委員10人(市民委員5人, 学識経験者5人)	いただいた意見を今後の事業に取り入れ実施していくことで市民参加の推進を図る。	積極的な推進が見られた
		118. 市民意見導入の推進	男女共同参画課						

【資料3】平成28年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業 具体的な取り組みの進捗状況

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H28年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
V みんなで推進する									
1 連携・協働体制の構築									
	(2) 国・県・近隣自治体との連携・協力	① 国・県・近隣自治体と連携した取組の推進	119. 国、県、近隣自治体との連携	男女共同参画課	実施した	・下記の会議に出席し、国・県・近隣自治体との情報交換を行った。 ちば男女共同参画行政担当者連絡会議 男女共同参画センター連絡会議 男女共同参画づくりに向けての全国会議 ・千葉県男女共同参画地域推進員会議(千葉・葛南地域)に出席し、県や近隣自治体と協力して事業を実施した。月1回、第4水曜開催。 ・千葉県男女共同参画課より講師を招いて、女性こころの悩み電話相談員研修を実施した。 ・県や国からの情報を活用することができた。	国・県・近隣自治体との連携・協力を図ることができた。	現状維持	
			119. 国、県、近隣自治体との連携	男女共同参画センター	実施した	主催講座等についての有意義な情報交換ができ、より質の高い業務を行うための良い機会となった。	積極的な推進が見られた		
2 推進体制の強化									
	(1) 男女共同参画センターの充実	① 男女共同参画センターの周知と機能の充実	120. 男女共同参画センターの周知と効果的な情報発信の実施	男女共同参画センター	実施した	・広報やちよで特集を組み、男女共同参画に関する情報を発信した。 ・市HPや情報メール、ちらしで情報を発信した。 ・センター内に支援団体の活動を紹介するコーナーを設けたり、関係機関の広報誌等を配架したりして情報提供を行った。 ・講座実施状況をホームページに掲載、センター内に掲示した。	広く男女共同参画に関する情報提供を行い、男女共同参画センターの周知ができた。	積極的な推進が見られた	
			(2) 庁内推進体制の整備・拡充	① 庁内推進組織の活用	121. 庁内推進組織の活用	男女共同参画課	実施した	男女共同参画施策を推進するための庁内の組織として設置した「やちよ男女共同参画プラン推進会議及び幹事会」の委員及び幹事に、やちよ男女共同参画プラン第1期実施計画の進捗状況を報告した。	本市の男女共同参画施策の進捗状況について、庁内推進組織を活用し周知することができた。
	② 市職員への研修機会の提供	122-1. 市職員への研修機会の提供 (1)国、県等の講座、研修等の情報提供			男女共同参画課	実施した	新規採用職員研修において、「男女共同参画社会の取組」というテーマで10月12日に研修を実施し、52人が受講した。	新規採用職員を対象に、やちよ男女共同参画プランに基づき、男女共同参画に関する取組を理解するため研修を実施し、男女平等意識の啓発に努めた。	積極的な推進が見られた
		122-2. 市職員への研修機会の提供 (2)男女共同参画に関する研修の実施			職員課	実施した			積極的な推進が見られた
	(3) 計画の進行管理の充実	① 計画の進行管理・評価・周知	123. 計画の進行管理、評価、周知	男女共同参画課	実施した	No.121と同じ	No.121と同じ	現状維持	